

## 医療機関群の具体的な要件について（2）

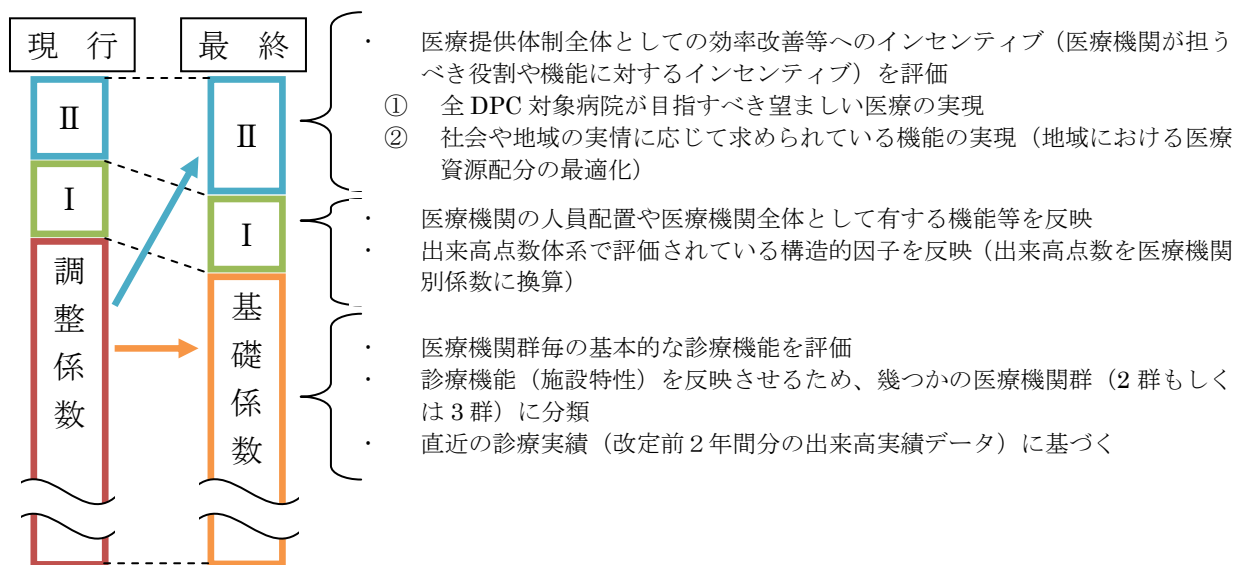
### 参考資料

#### I. 基礎係数（医療機関群別）設定の基本的考え方 [平成23年10月14日・DPC評価分科 会資料D-3 及び平成23年9月7日中医協総会資料総-3-2 より抜粋・一部修正]

##### 1. 調整係数見直し（基礎係数への置換え）の概要

- DPC/PDPS の定額報酬の算定における現行の調整係数について、今後の段階的な経過措置を経て、最終的に基礎係数と機能評価係数Ⅱに置き換える。この場合の基礎係数は、基本的な診療機能を評価した係数部分であり、直近の診療実績に基づき、1件当たりの平均出来高相当点数を算出評価する。

##### <最終像のイメージ>



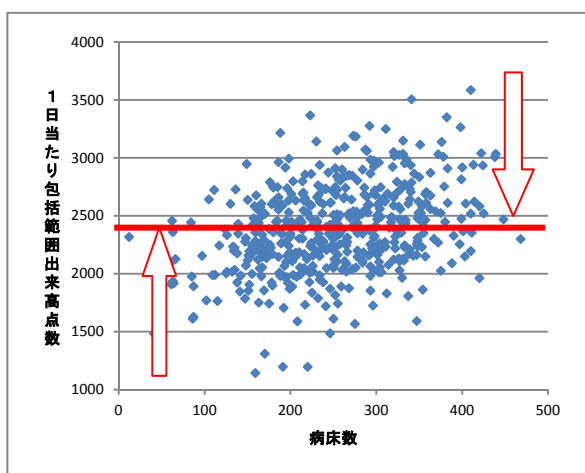
- 基礎係数の設定については、DPC/PDPS 参加病院の診療機能（施設特性）を適切に反映させるため、幾つかの医療機関群別に算出する定数値（当該医療機関群全体に係る1件あたり平均出来高点数に相当）とする。

##### 2. 医療機関群別に基礎係数を設定する理由

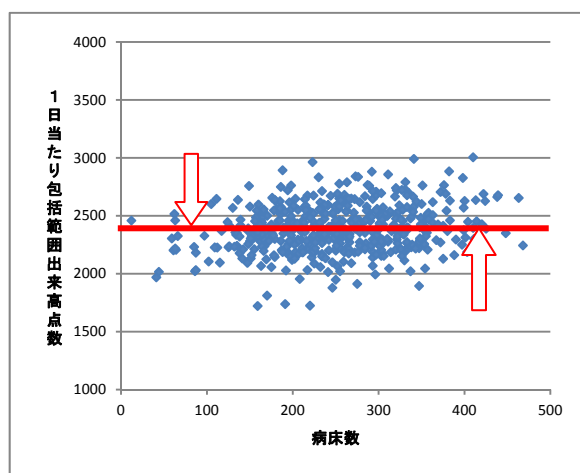
- 同一の基礎係数が設定される医療機関に対しては、同程度の効率化・標準化が促進され、中長期的には同一基礎係数の対象機関について、一定の診療機能や診療密度等に収斂していくことが期待されることになる。

<効率化・標準化の進展のイメージ>

【現状】



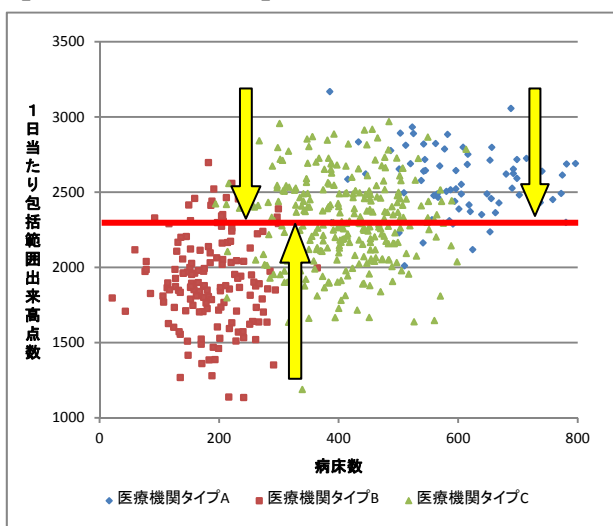
【一定期間経過後】



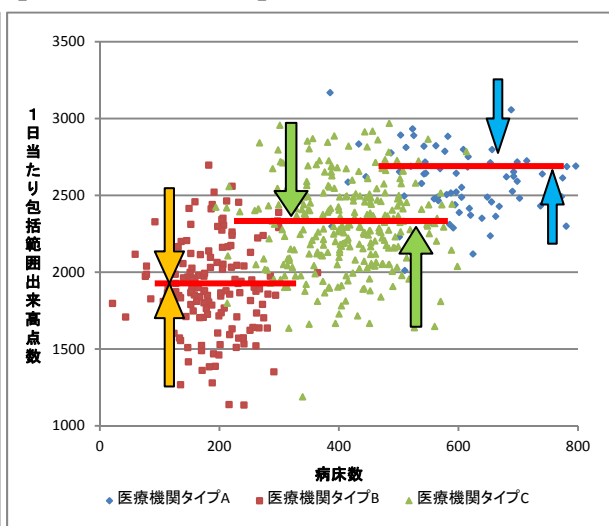
- 例えば、より重症な患者への対応やより先進的な技術の実践といった、他の施設とは異なる機能や役割を担う医療機関に、他と同程度の効率化・標準化を求めることは、これらの役割や機能を担うインセンティブがなくなってしまう懸念がある。
- このような弊害に対応するため、一定の合理的な役割や機能の差が認められる医療機関について、基礎係数を分けて設定することが妥当と考えられる（医療機関群に対応した基礎係数の設定）。

<基礎係数設定のイメージ>

【単一医療機関群】

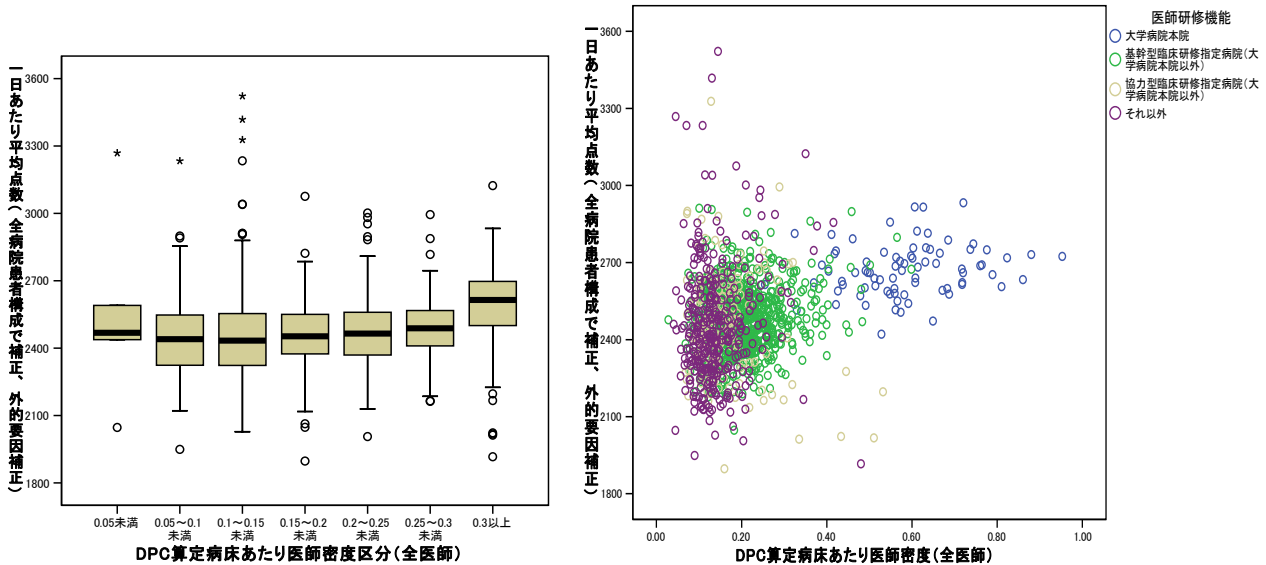


【医療機関群ごと】



### 3. 医療機関群の要件

- 基礎係数に係る医療機関群の設定の前提として、1日当たり平均点数（診療密度に相当）に影響する要因について検討した結果、病床当たりの医師数（医師密度）が関連することが一定程度示された。



- 一方、医師密度による医療機関群設定の検討に際して、医師密度や診療密度（1日当たり点数）を単独で評価することについては、単に医師が配置されていることや、単に診療密度が異なること（濃厚診療）の評価につながる懸念が指摘され、更に、それらの要因や前提となる機能や役割について整理することが求められた。
- このような検討を経て、医師密度及び診療密度の要件とともに、これらの要件が必要とされるような合理的かつ明確な役割や機能、具体的には、医師研修、高度な医療技術、重症患者に対する診療、といった医師密度や診療密度とも一定の関係が示唆される実績要件による医療機関群の設定を検討することとされた。
- 一連の検討から、具体的な医療機関群の要件として、医師密度・診療密度が一定以上の医療機関について、これらの医師密度や診療密度が必要とされるような一定以上の医師研修の実施、一定以上の高度な医療技術の実施、一定以上の重症患者に対する診療の実施、といった役割や機能が実績として認められるものを1つの医療機関として設定することが適切とされた。

(白紙)

## II. 各指標の集計結果

### [集計条件等]

- 本集計で使用したデータ（退院患者調査結果）は平成 22 年改定時に使用したデータ等を活用した試みの集計であり、平成 24 年改定で実際に使用するデータに基づく最終確定値ではない。
- 医師数（医師免許取得後経験年数別）
  - 各医療機関に平成 23 年 5 月の勤務実績を元に各医師の免許取得年、所定労働時間等を照会。 回答率は DPC 対象病院（平成 21 年 10 月時点）につき 98.6% (1,370/1,390)、DPC 対象病院及び DPC 準備病院で 98.2% (1,617/1,646)。
  - 医師数について全医師数、医師免許取得後 2 年以下、5 年以下及び 10 年以下の 4 区分で集計。なお、各医師の所定労働時間を 40 で割り、常勤換算医師数とした。
  - 医師免許取得後 2 年以下医師数については、臨床研修指定病院の初期臨床研修医採用実績（平成 22 年度及び平成 23 年度、医政局医事課集計）を使用。協力型臨床研修指定病院については上記調査の結果を使用。
- 外保連手術指数：外保連試案（第 8 版）暫定版に基づき、技術度指数（下記）を用いて各手術に重み付けを実施（平成 22 年 7 月～10 月データで計算）。

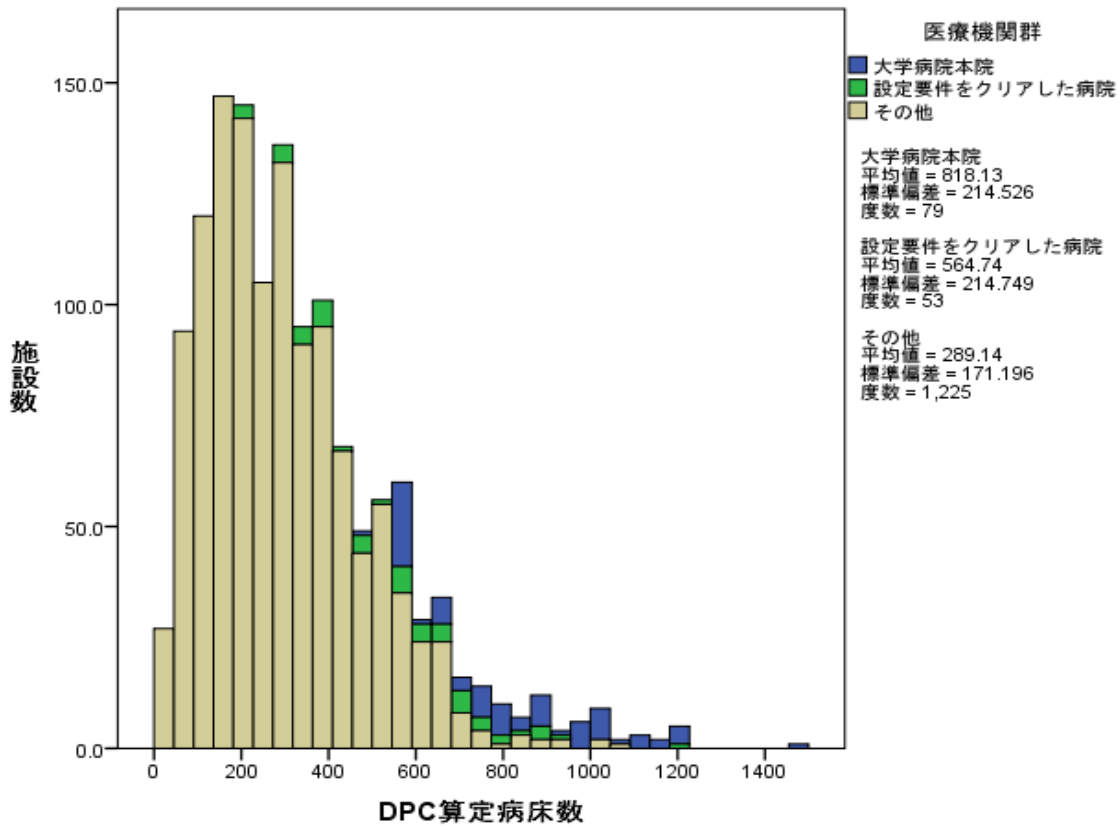
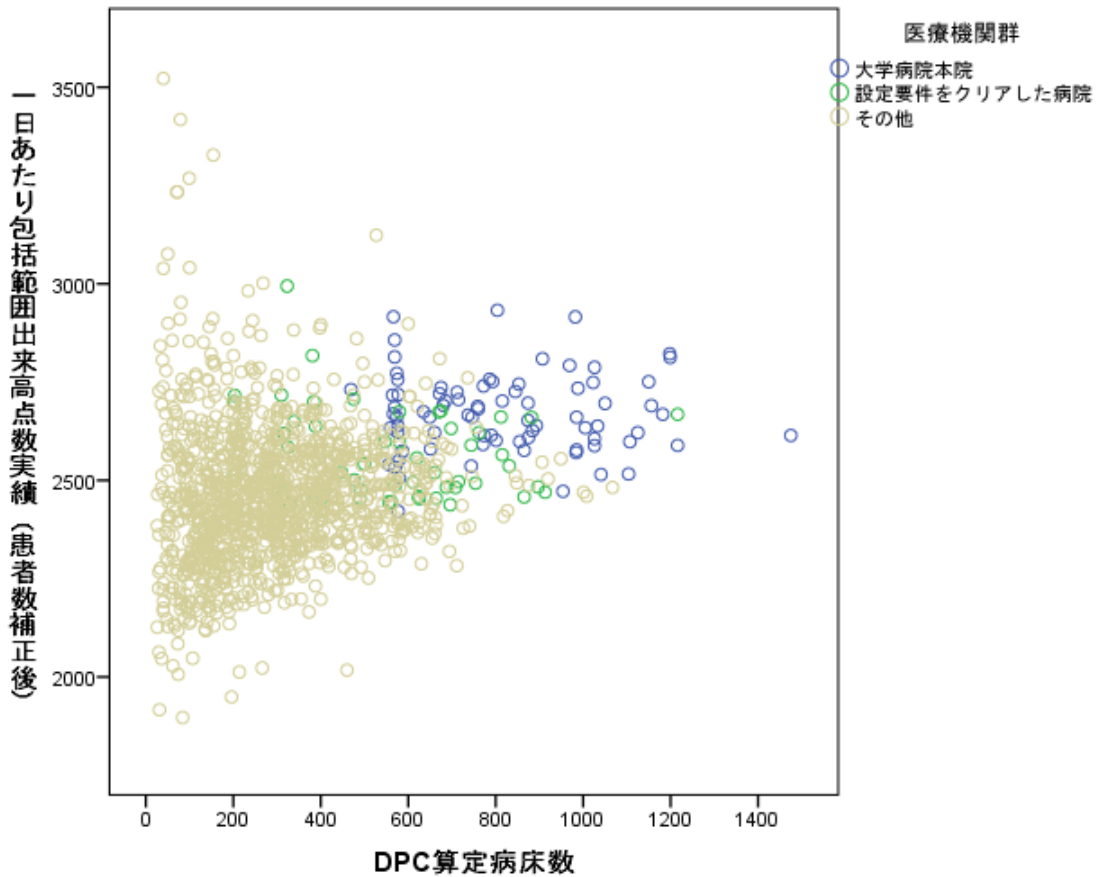
技術度区分	A	B	C	D	E
技術度指数	1.0	3.0	5.5	8.0	12.0

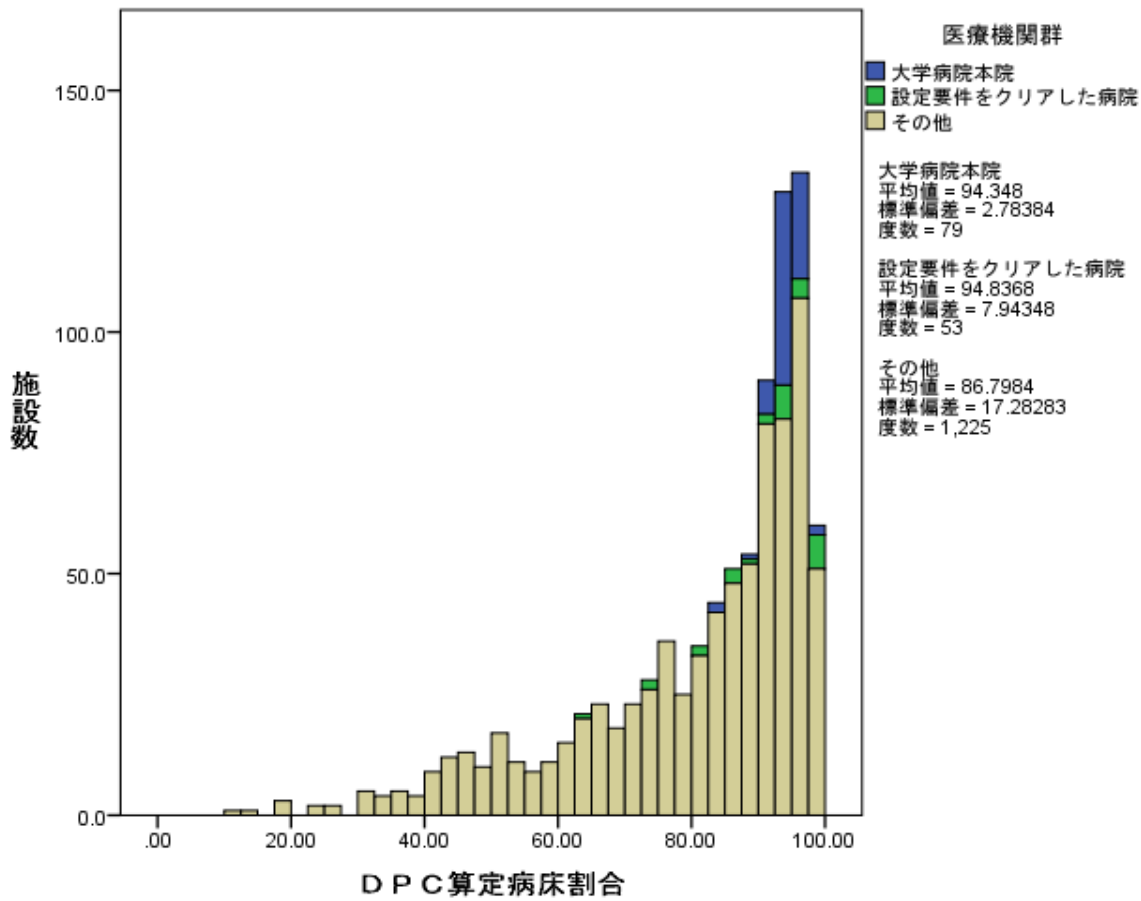
- 外保連手術指数（協力医師数加味）：外保連試案（第 8 版）暫定版に基づき、協力医師数を含めた時給の相対額（下記）を用いて各手術に重み付けを実施（平成 22 年 7 月～10 月データで計算）。

協力医師数	0	1	2	3	4	5	6
B	1.00	1.27	1.54	1.81			
C	2.36	3.36	3.63	3.90	4.17		
D	4.07	6.43	7.43	7.70	7.97	8.24	
E	6.11	10.18	12.54	13.54	13.81	14.08	14.35

# 1. 具体的要件案の比較に係る集計

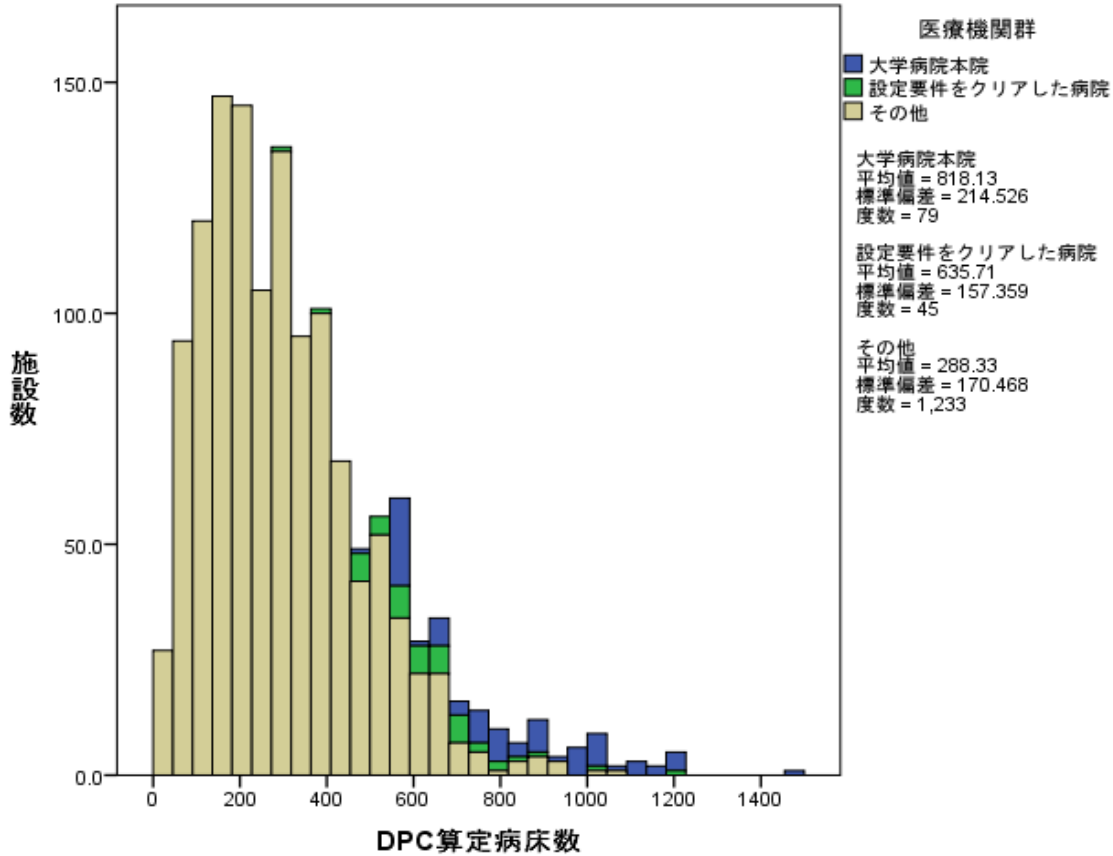
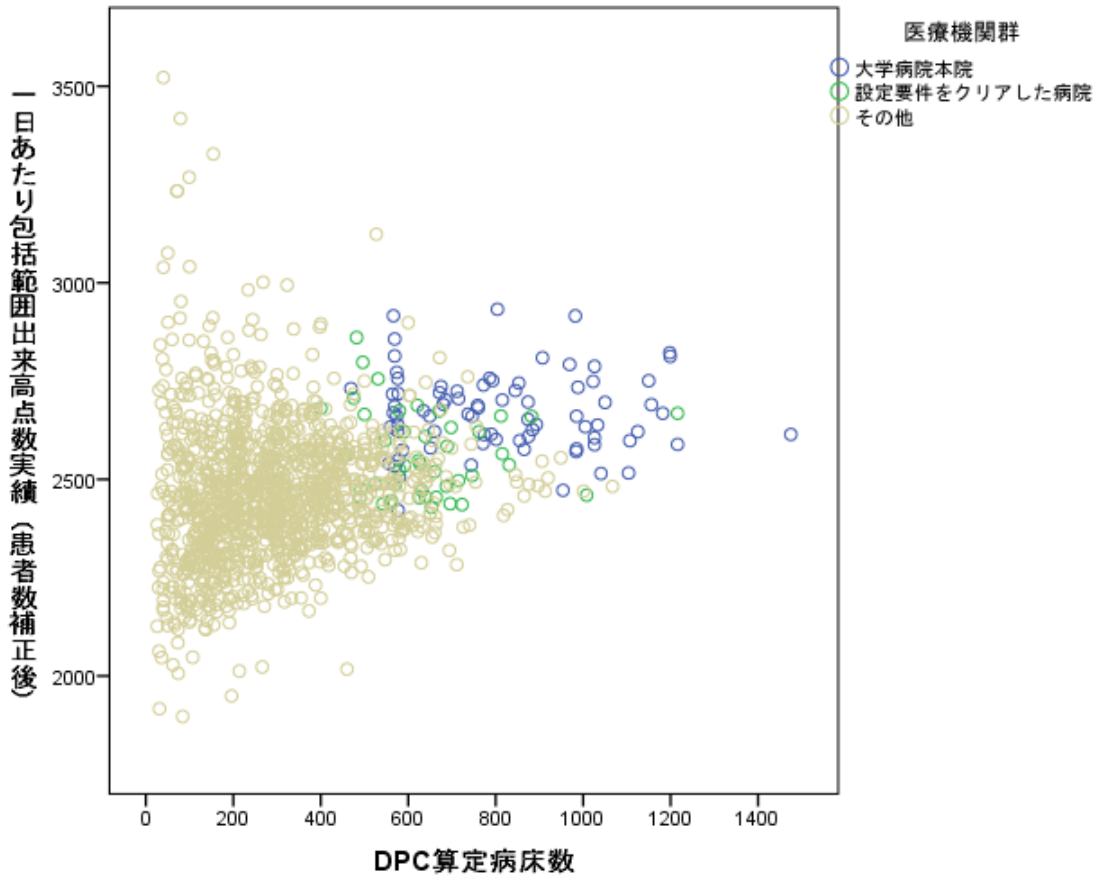
(1) 【原案】について、「一定の機能や実績の要件」を全て満たすとした場合  
 (基準値は仮に大学病院本院の最低値として集計)



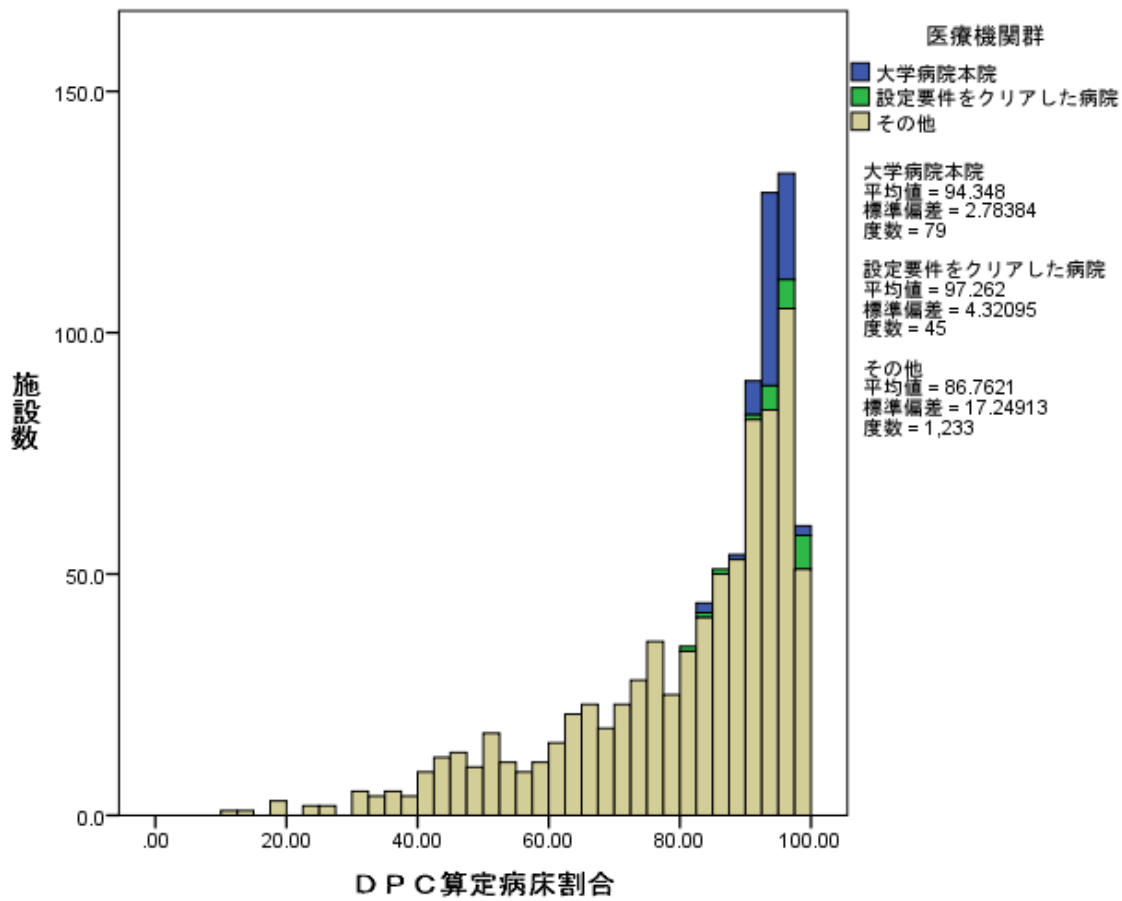


(2) 【修正案】を満たした医療機関を別の群とした場合

(実績要件の基準値について、【原案】に近い形となるように設定。)



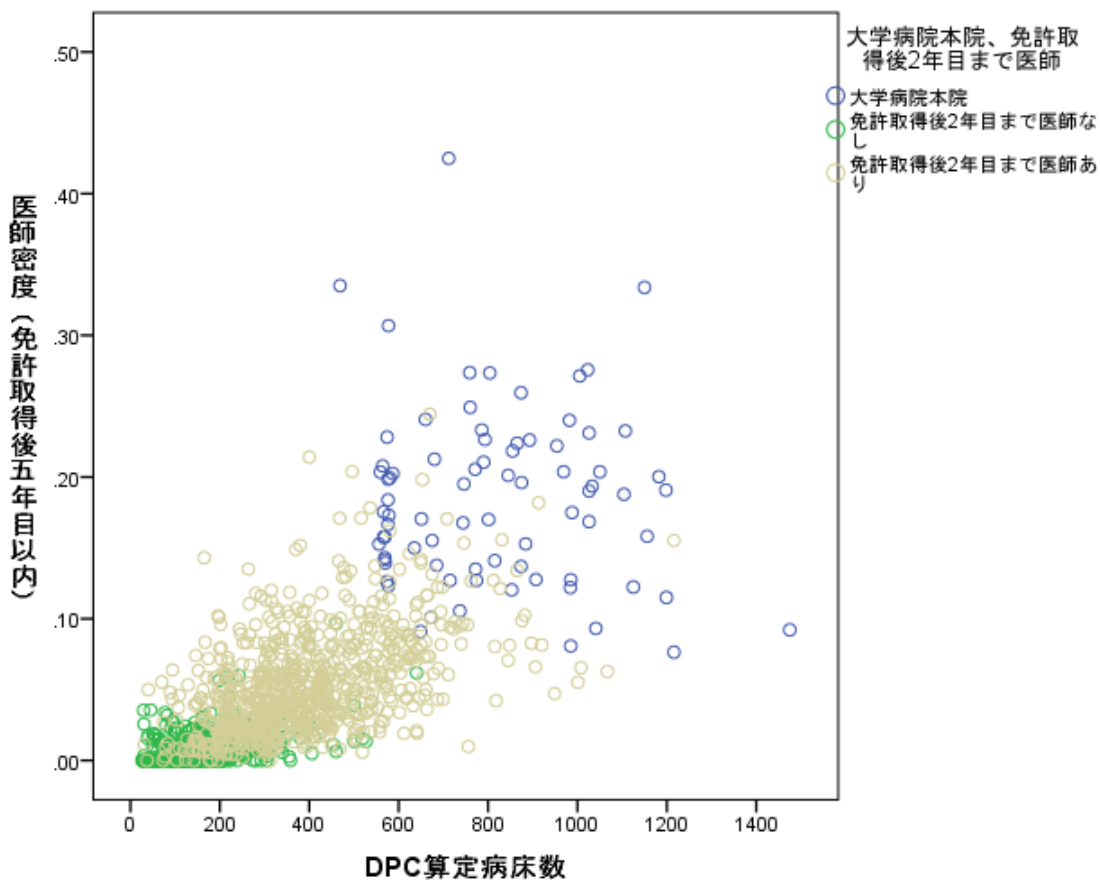
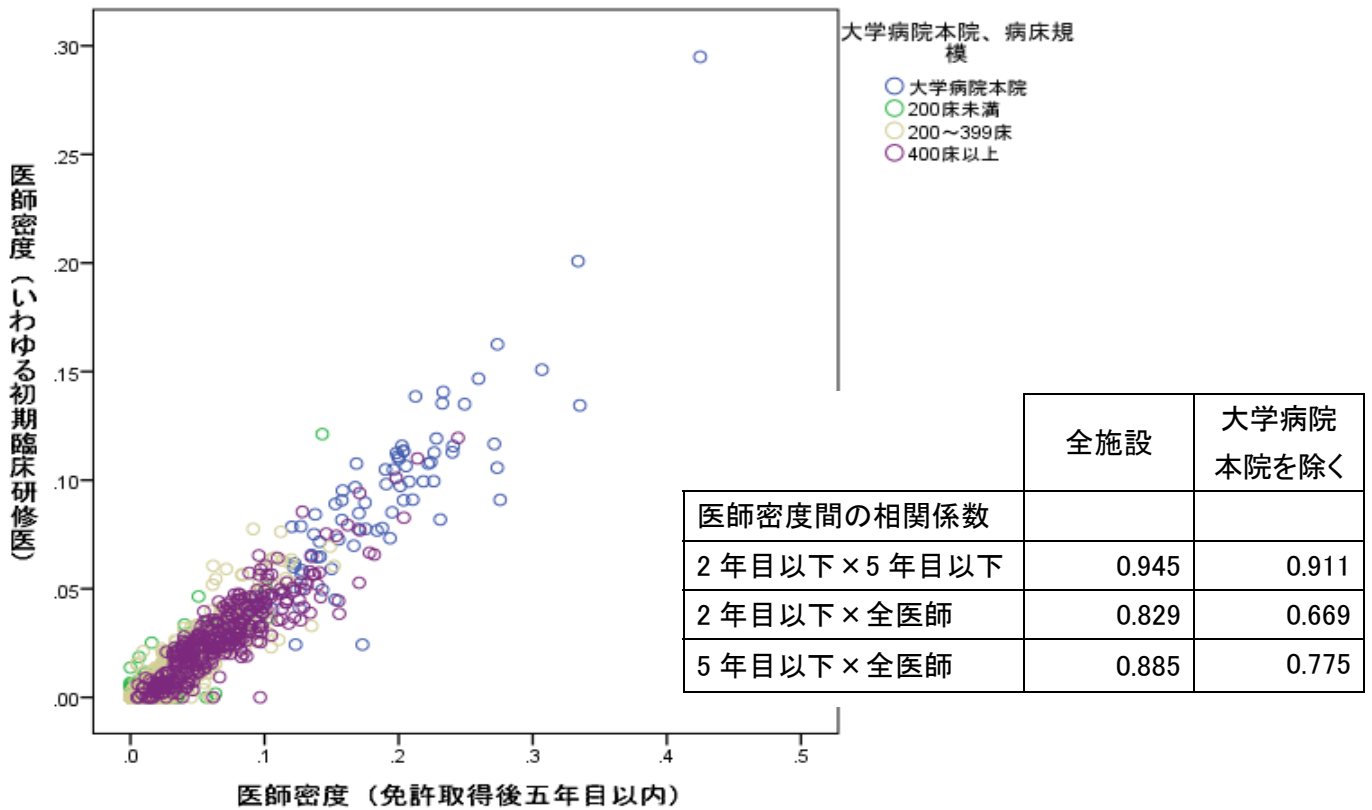


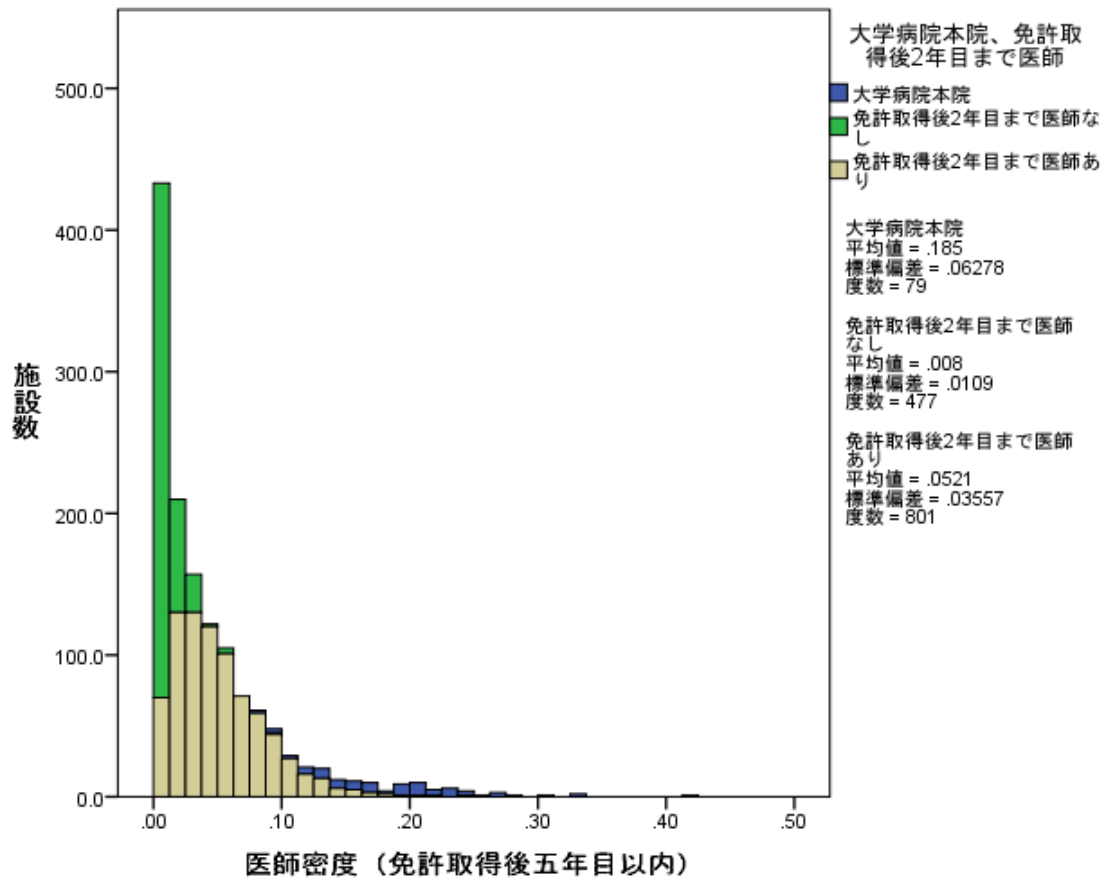
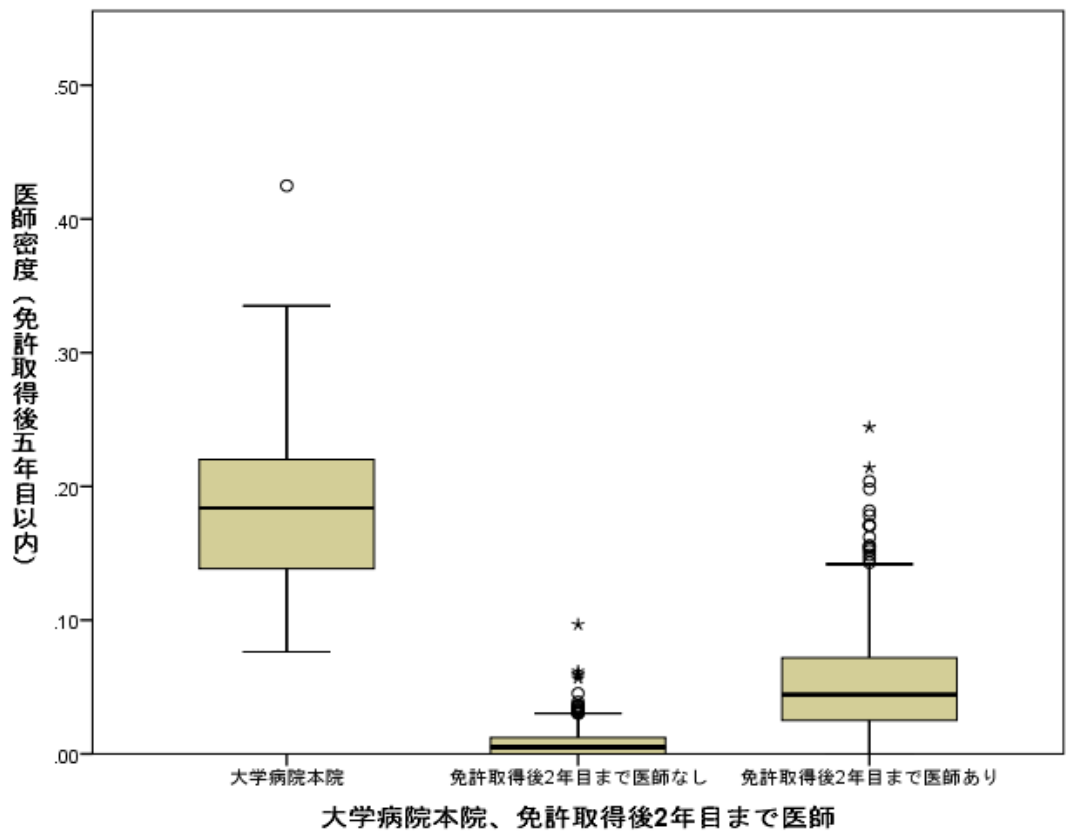


## 2. 実績要件の修正に係る集計

### (1) 「医師研修の実施」要件

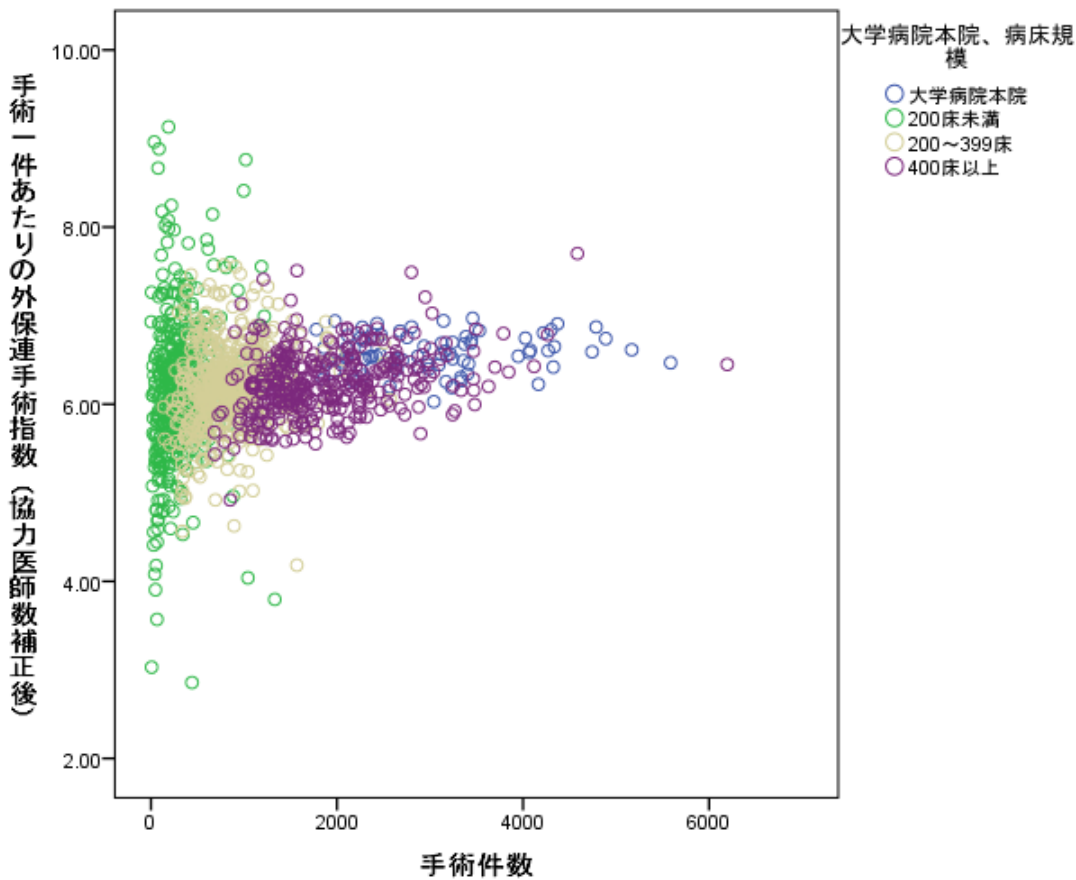
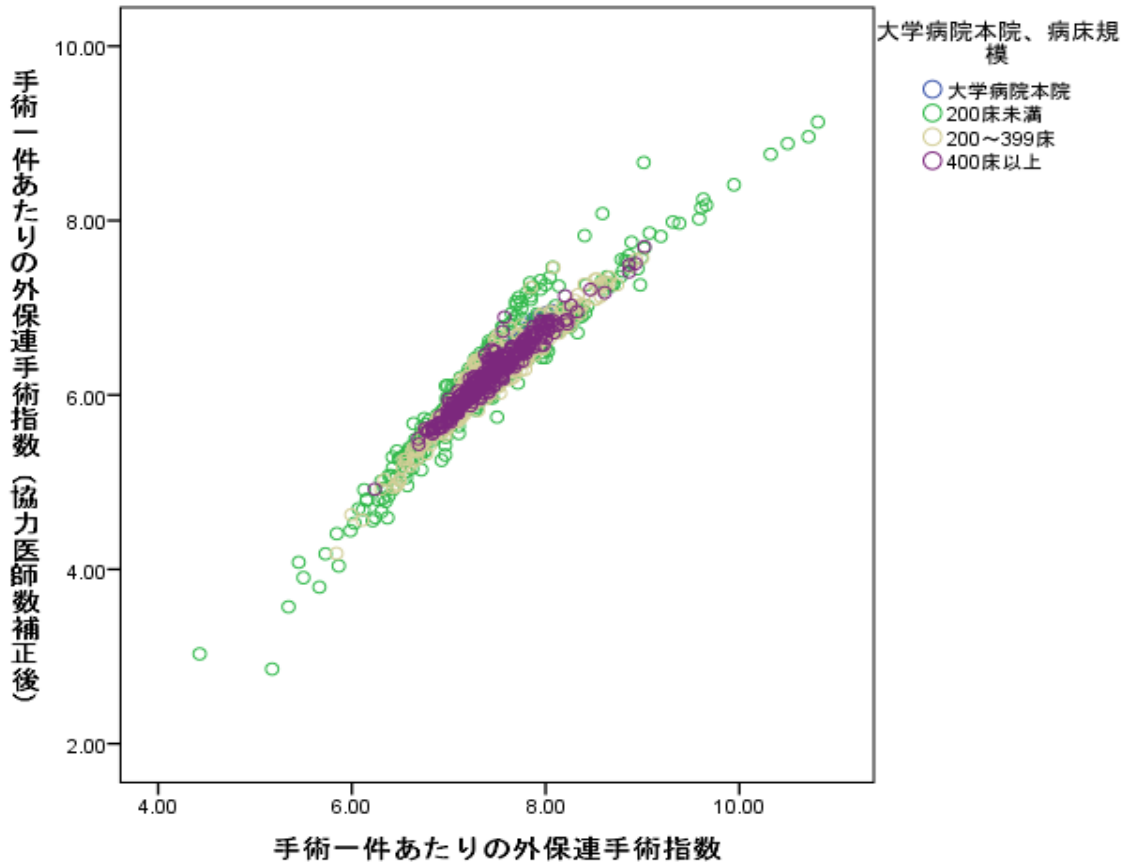
#### ① 医師密度（免許取得後5年目以内）と医師密度（免許取得後2年目以内）の関係

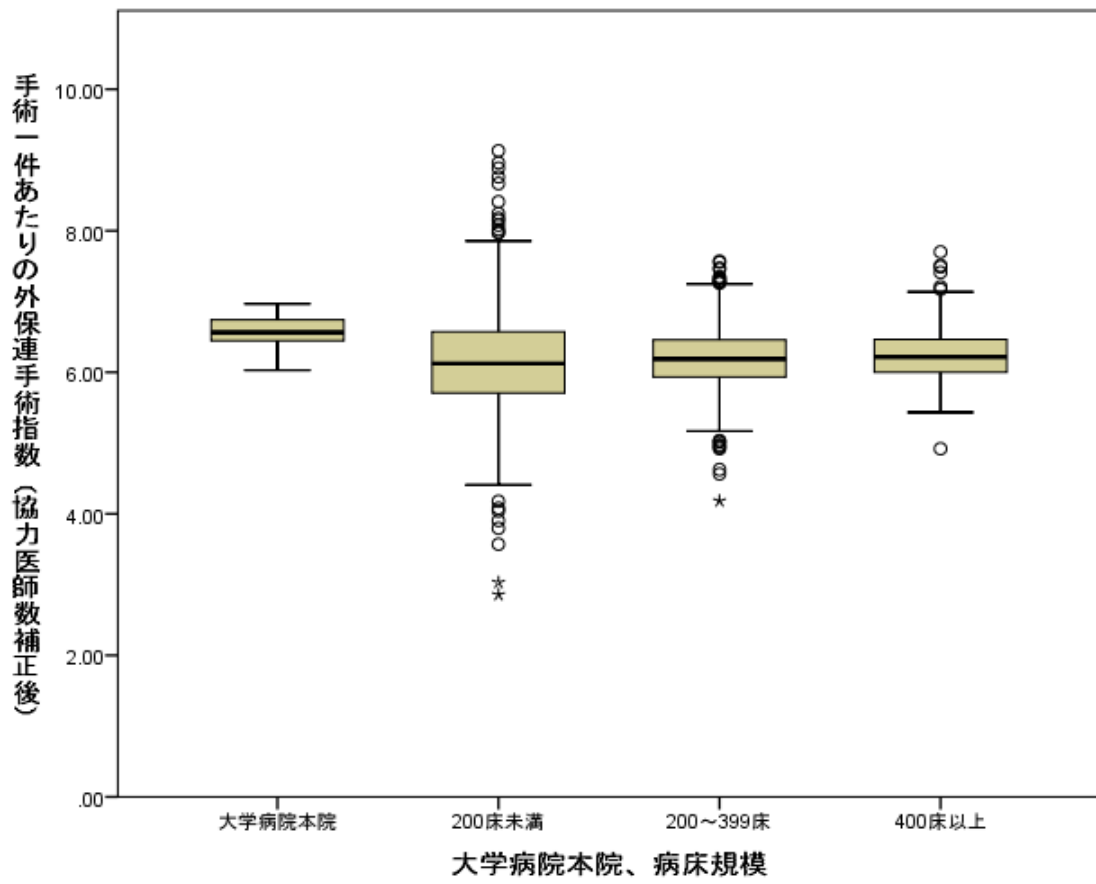




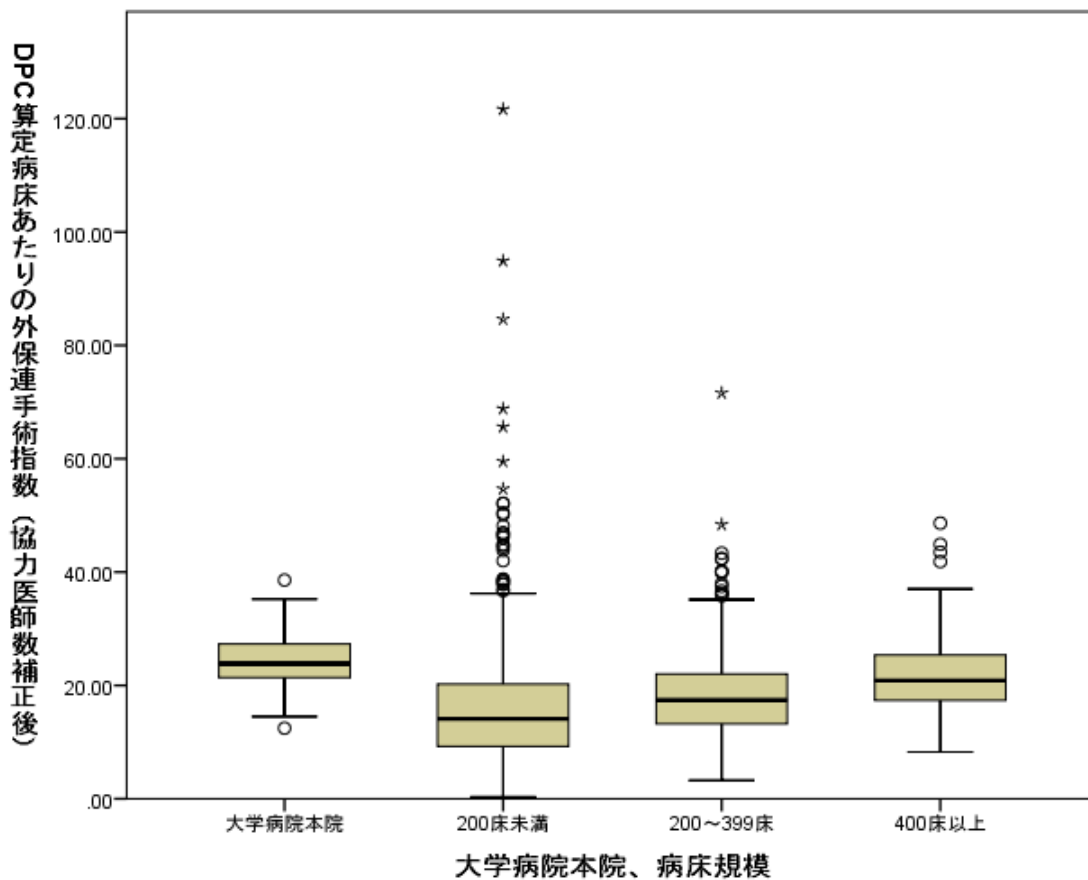
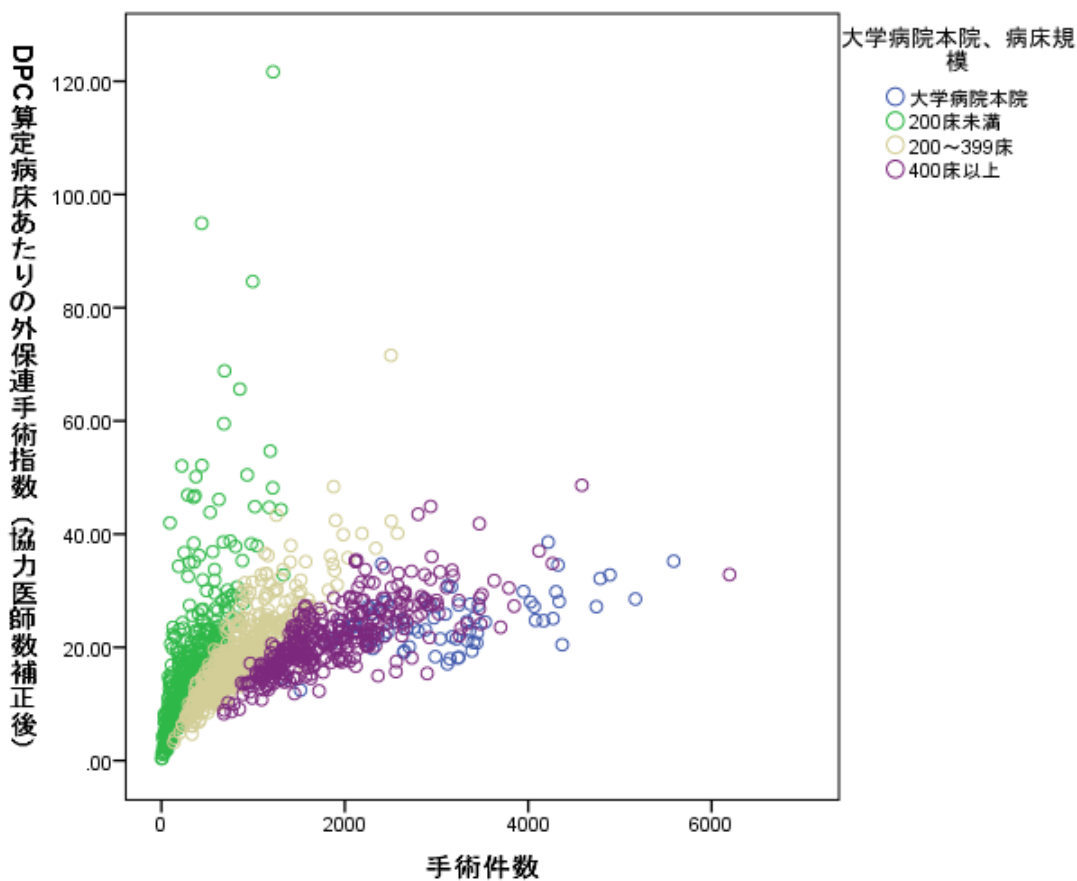
(2) 「高度な医療技術の実施」要件

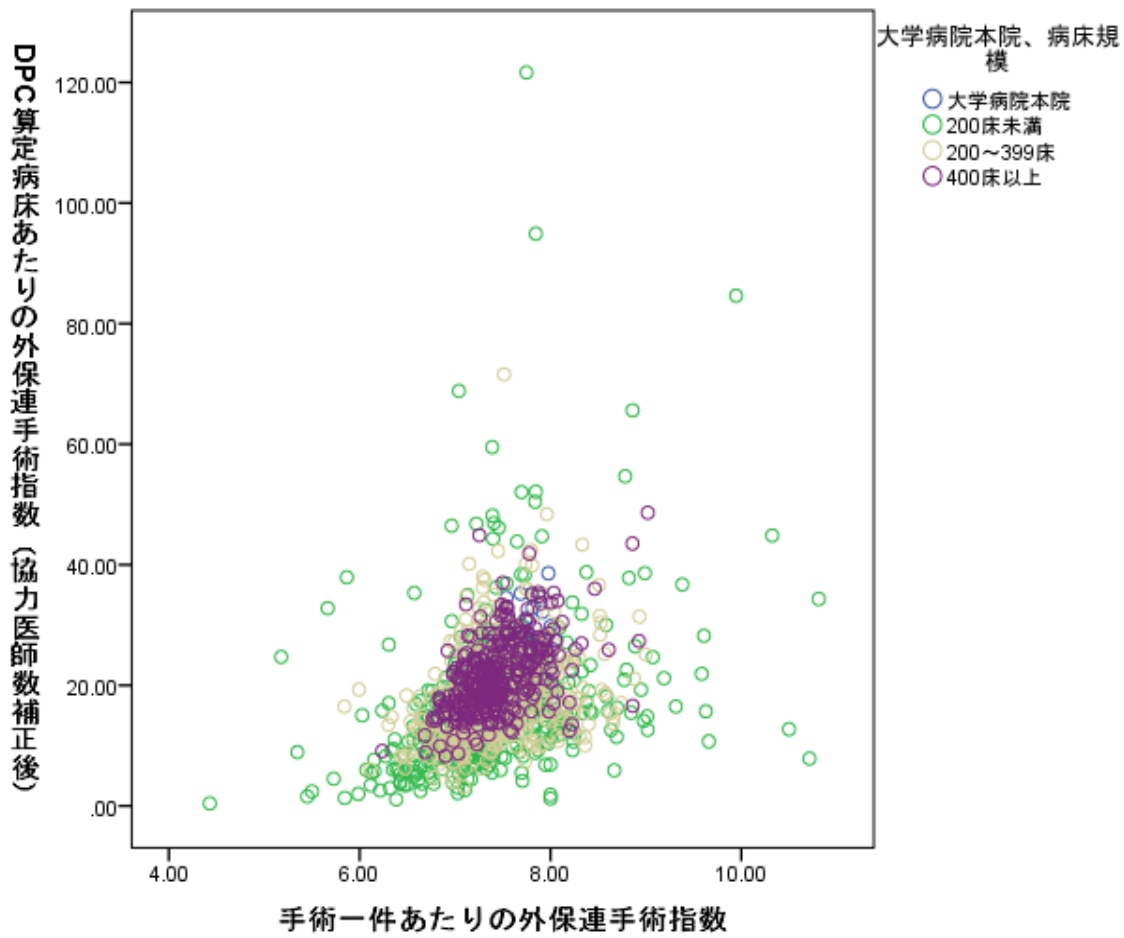
① 協力医師数による補正





② DPC 算定病床当たりの外保連手術指数（協力医師数補正後）

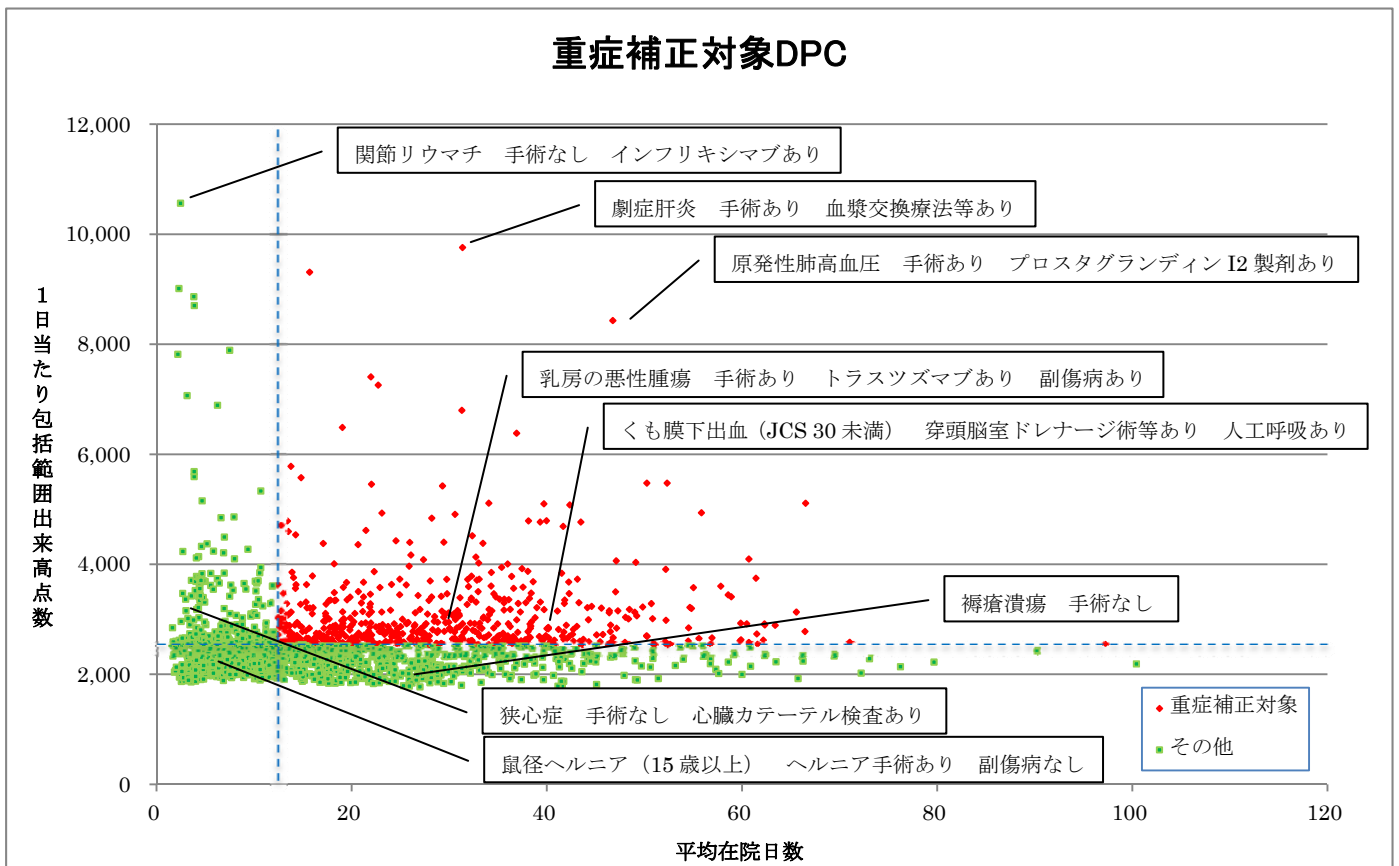
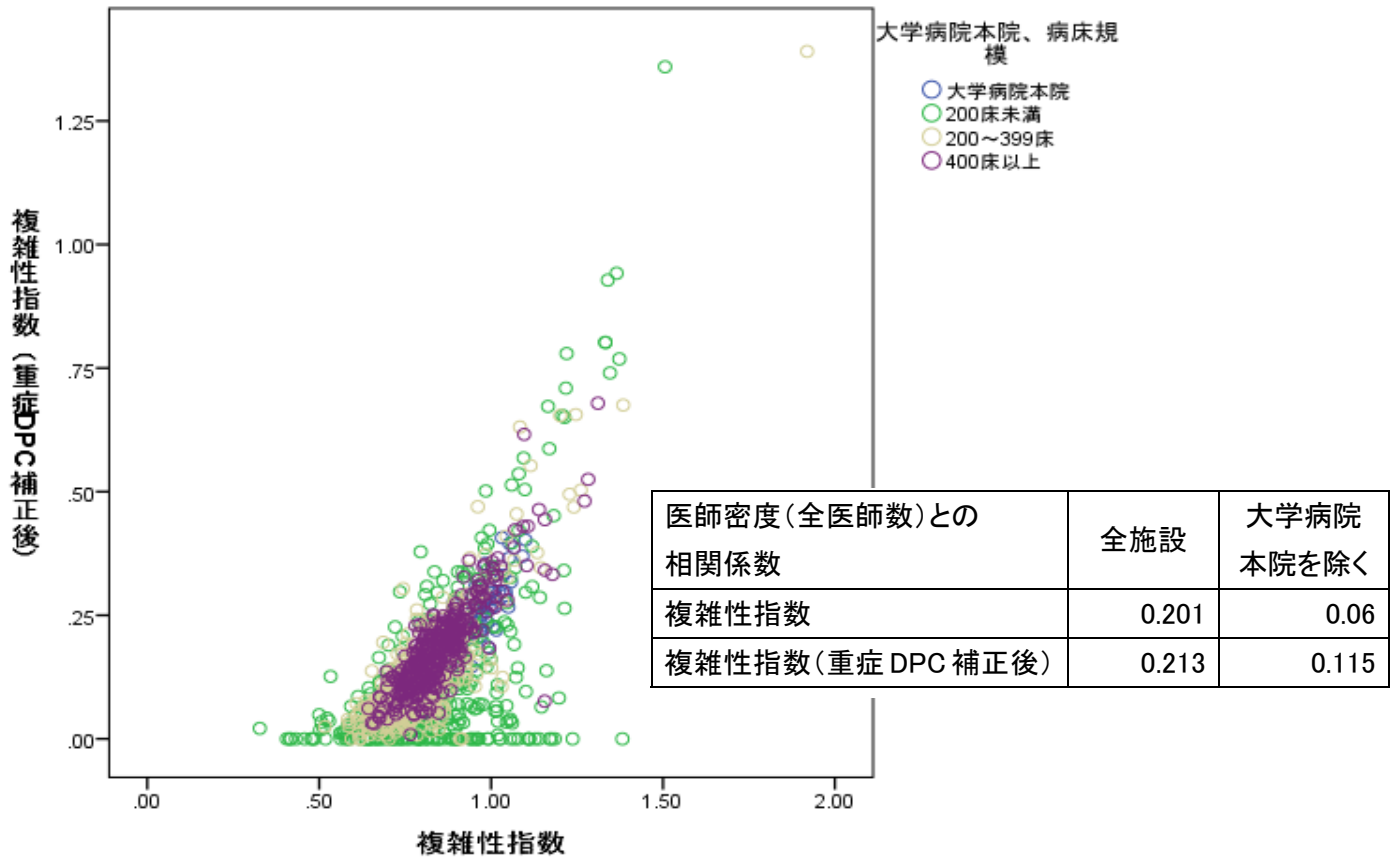




医師密度(全医師数)との相関係数	全施設	大学病院 本院を除く
<高度な医療技術>		
手術1件あたり外保連指数	0.138	0.088
手術1件あたり外保連指数(協力医師数補正後)	0.184	0.113
DPC算定病床あたり外保連指数	0.377	0.466
DPC算定病床あたり外保連指数(協力医師数補正後)	0.389	0.459

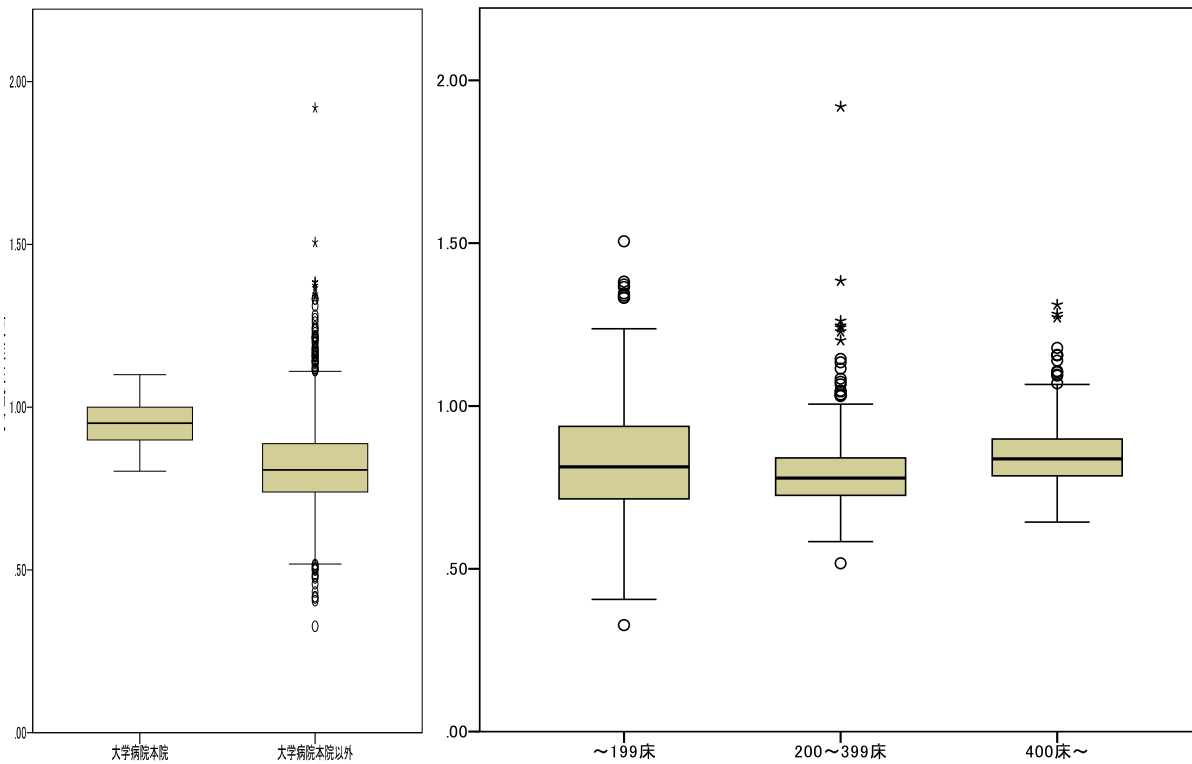
(3) 「重症患者に対する診療の実施」要件

① 複雑性指数の重症 DPC 補正

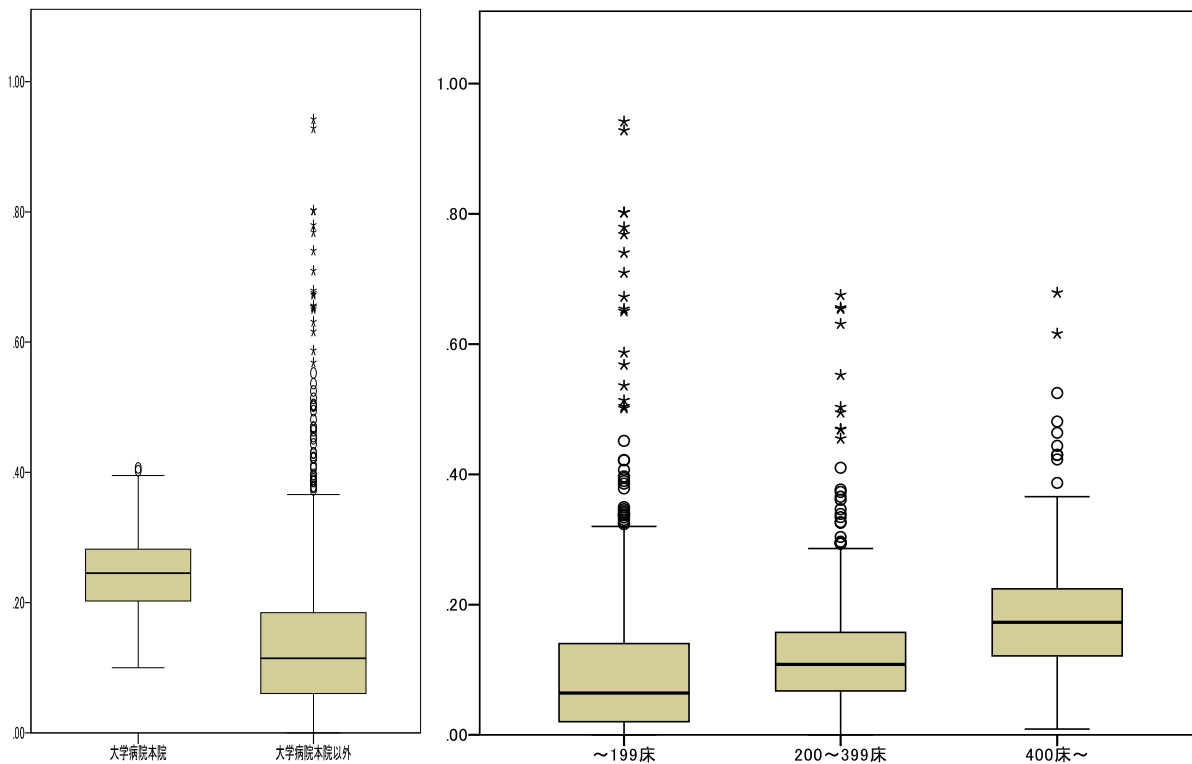




複雑性指数

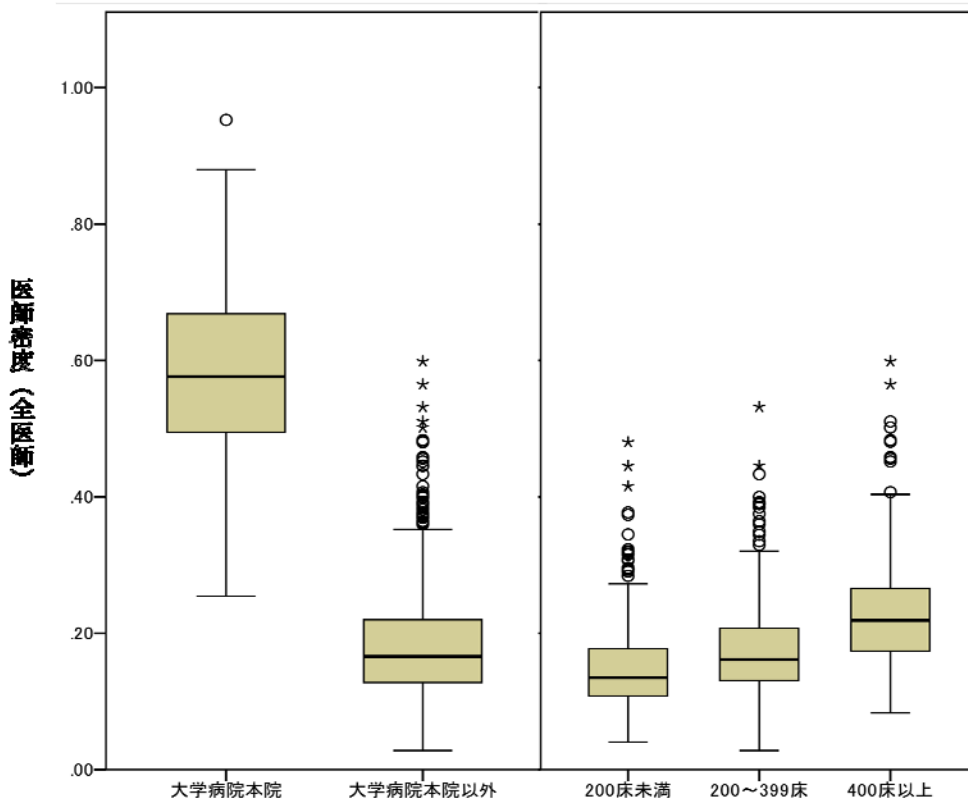
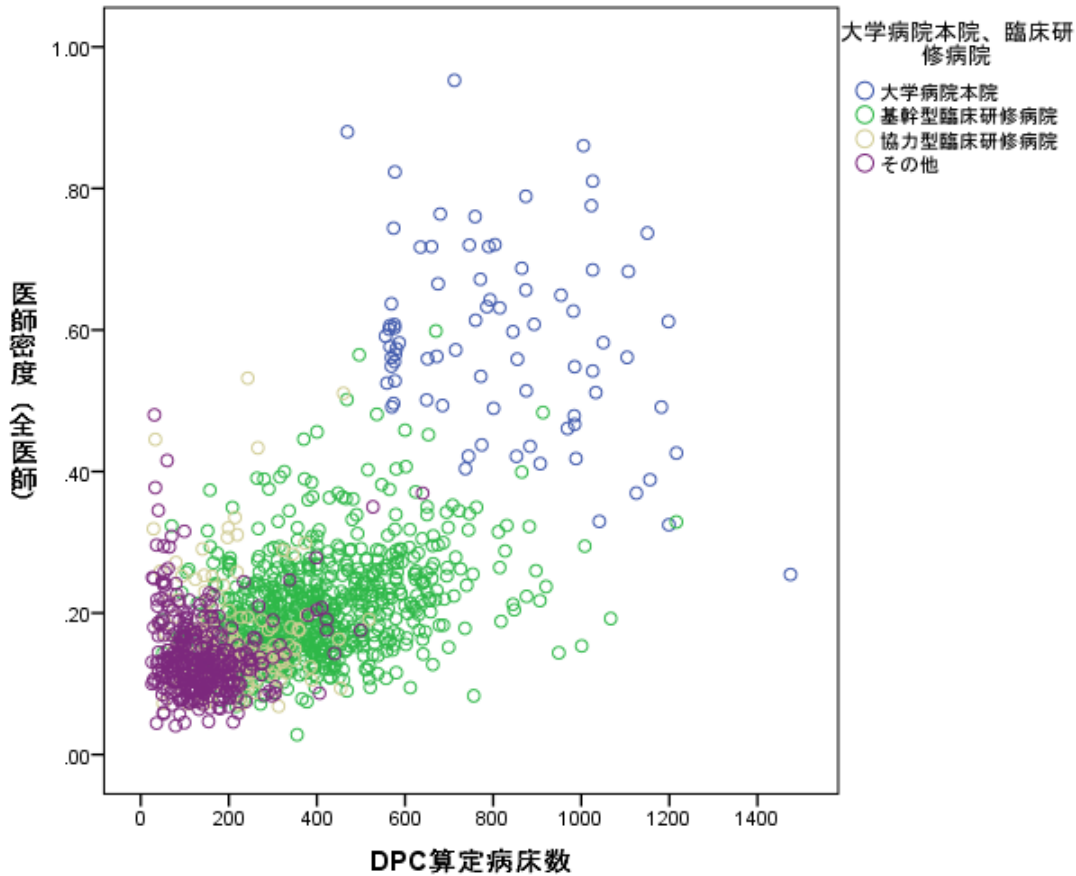


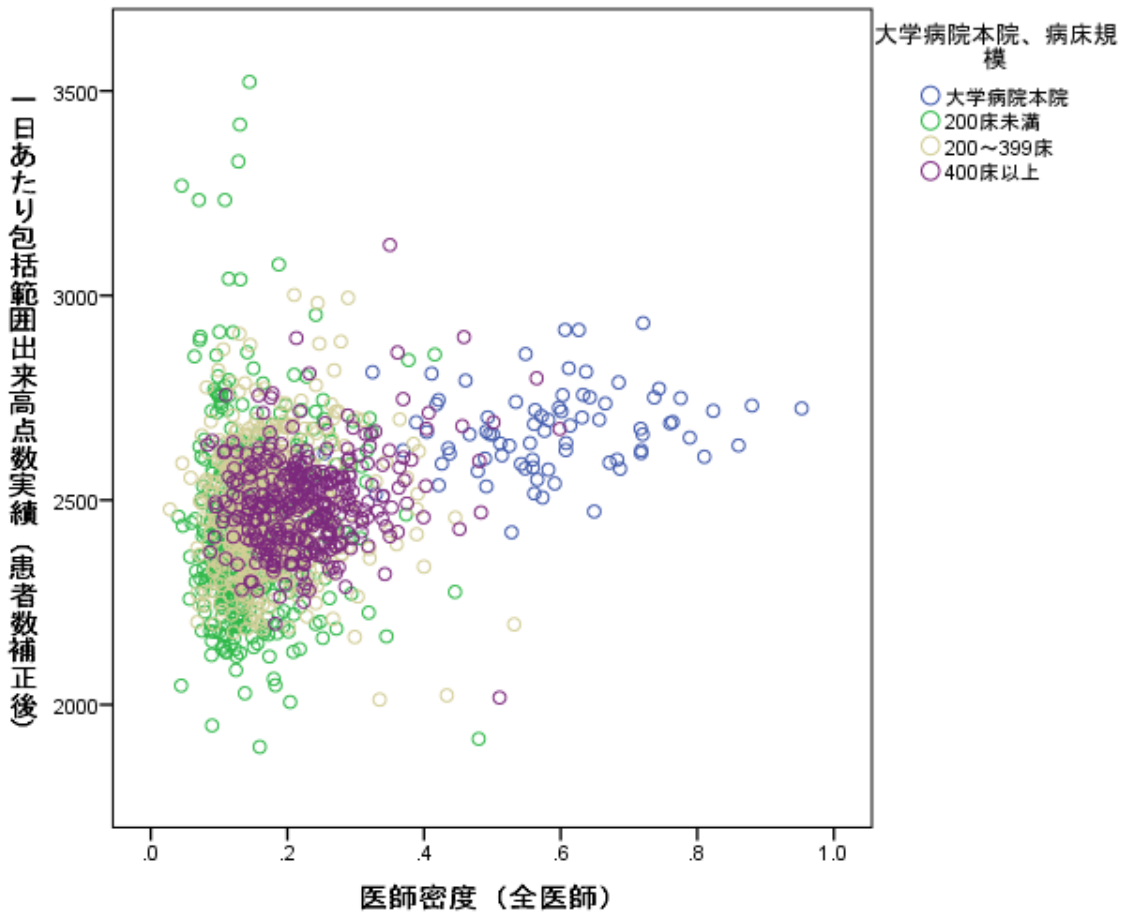
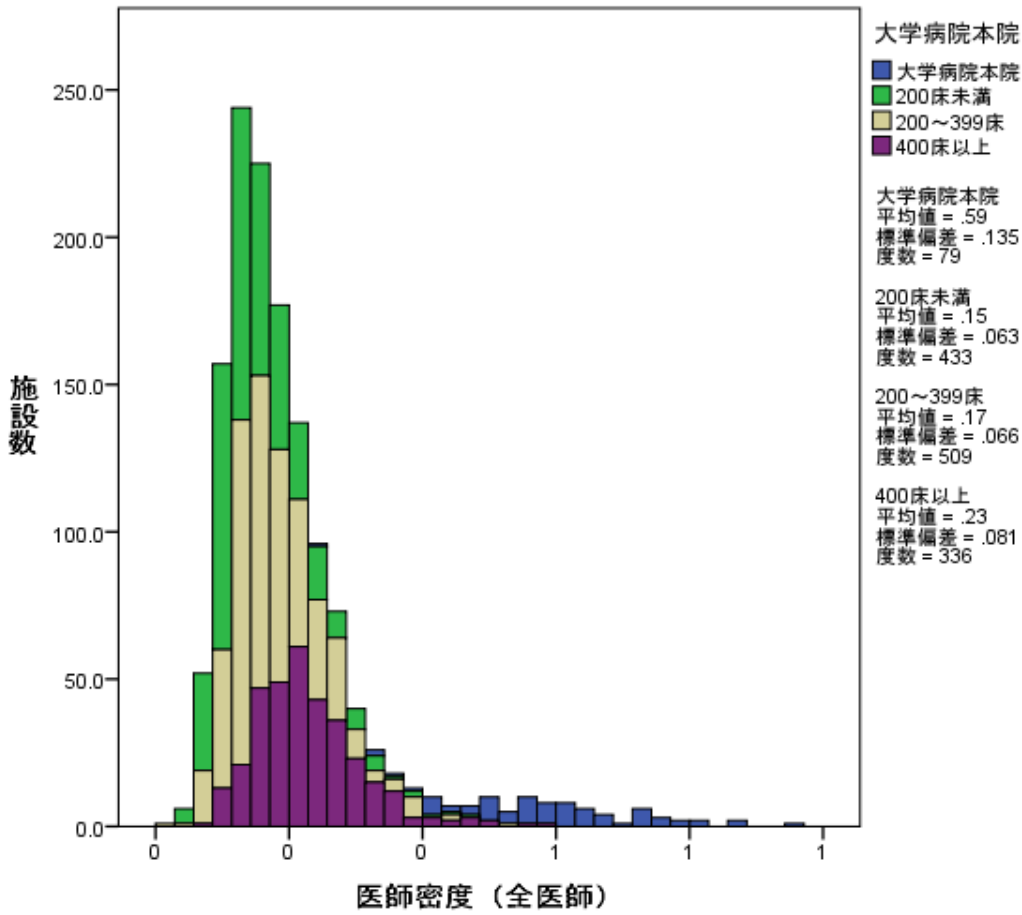
複雑性指数 (重症 DPC 補正後)



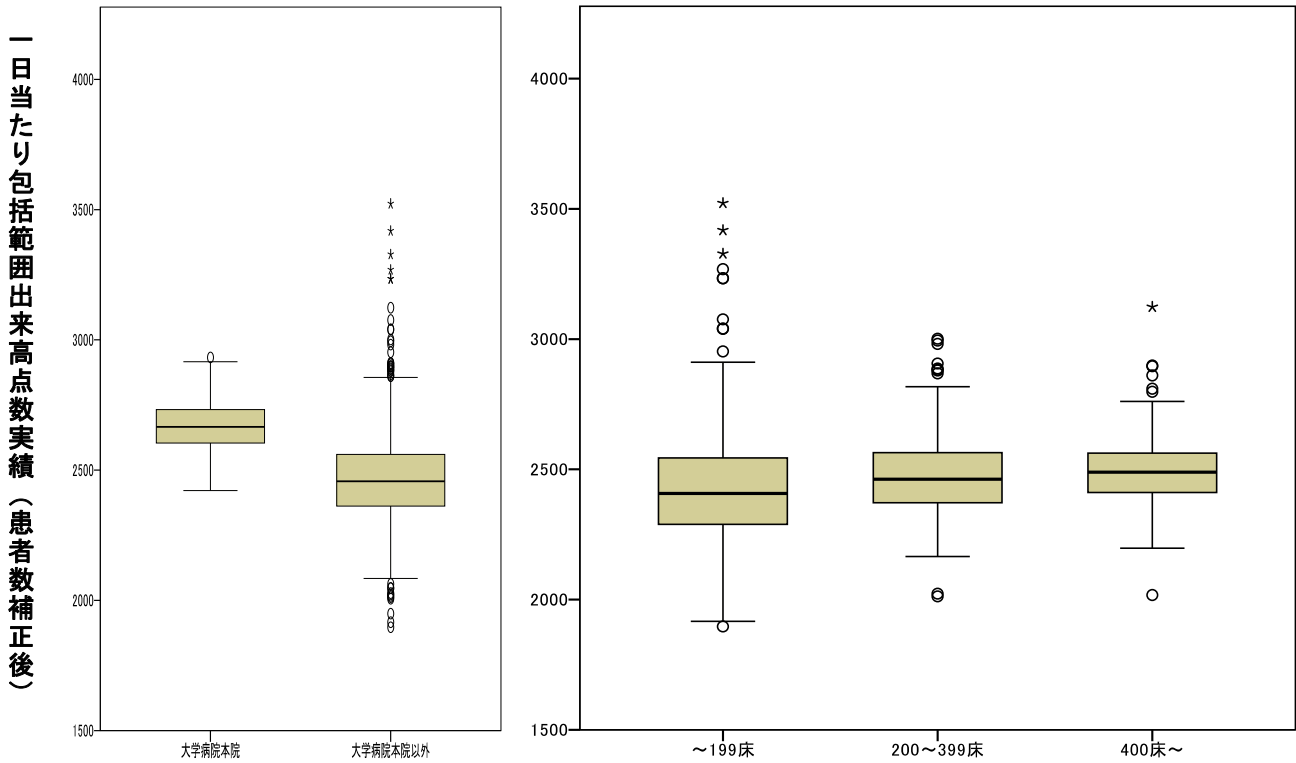
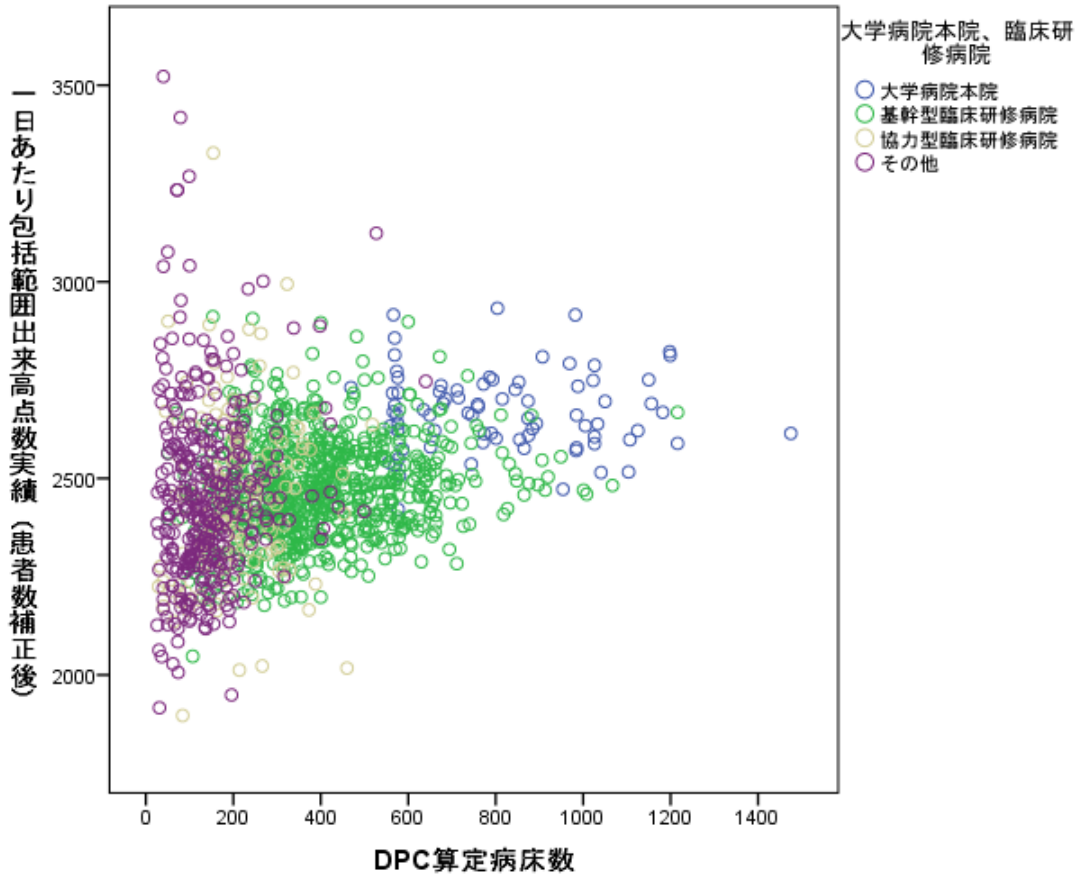
### 3. 各指標の分布 (参考)

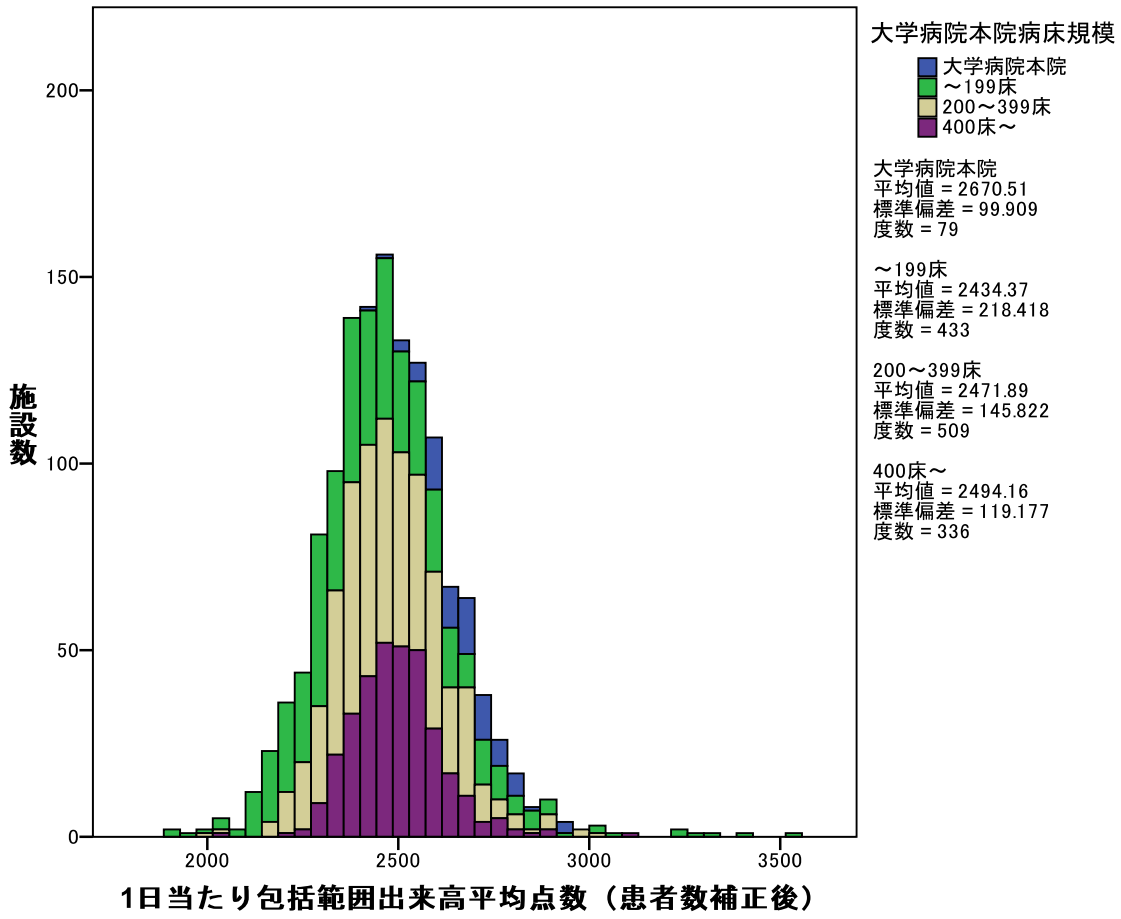
○「医師密度(全医師)」



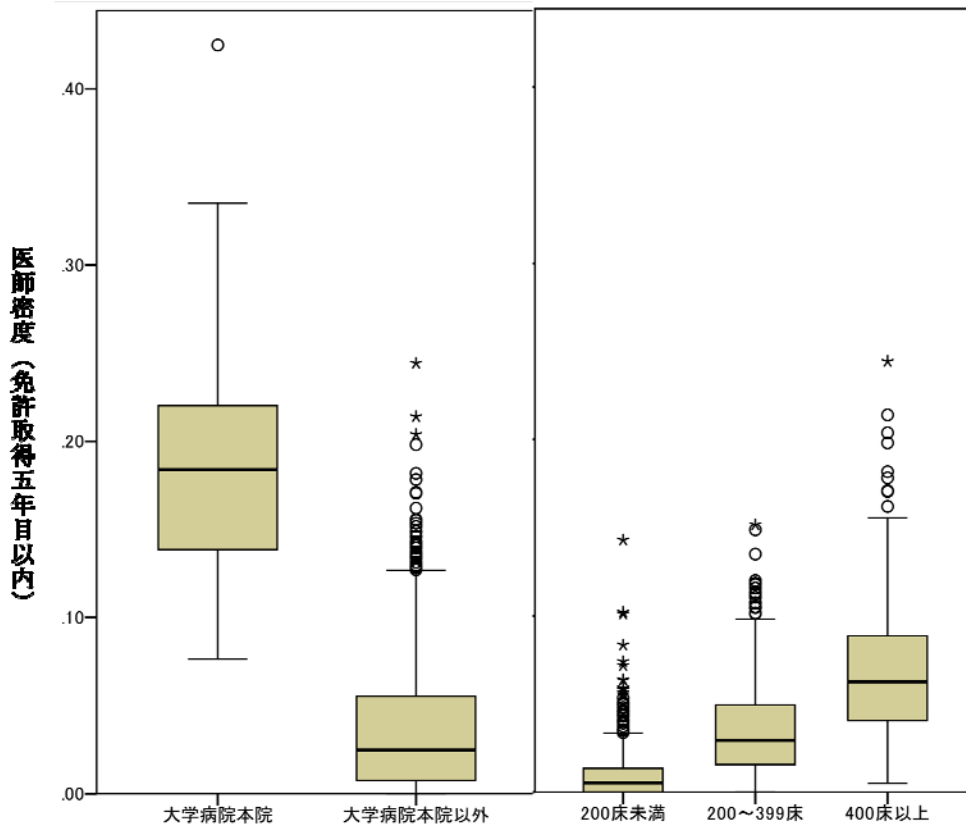
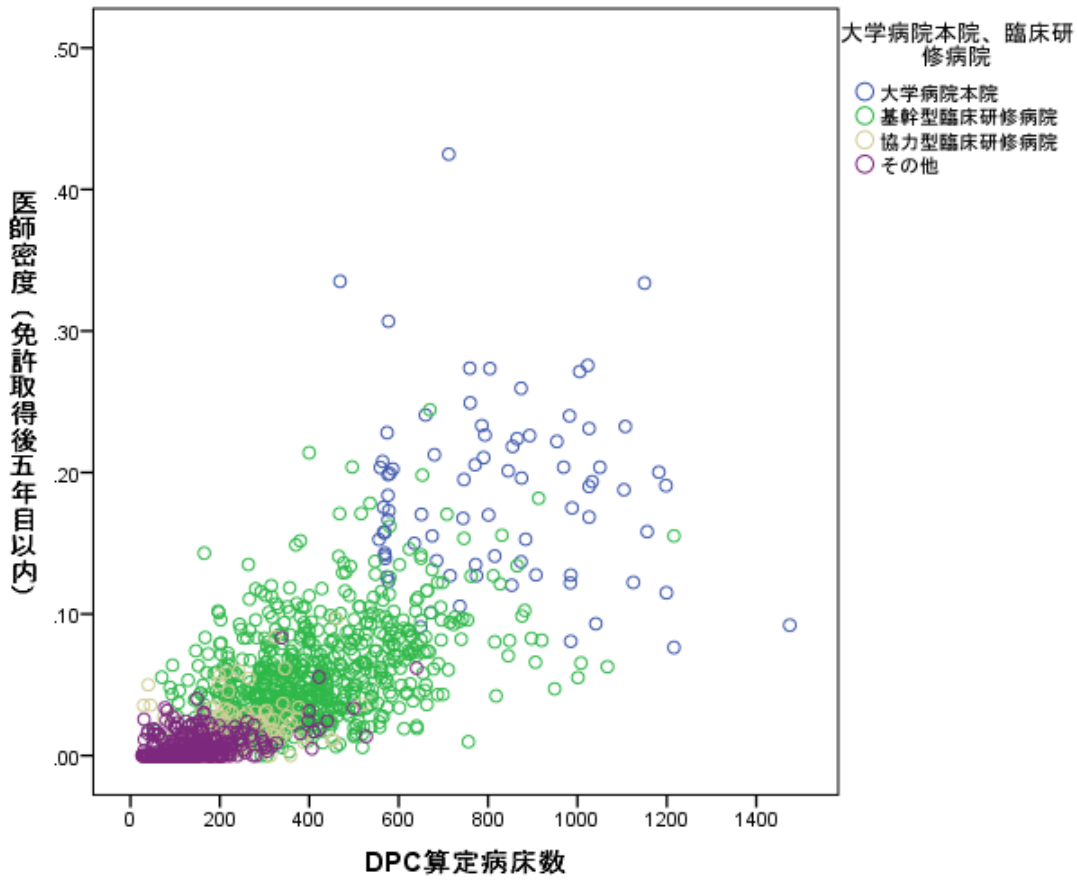


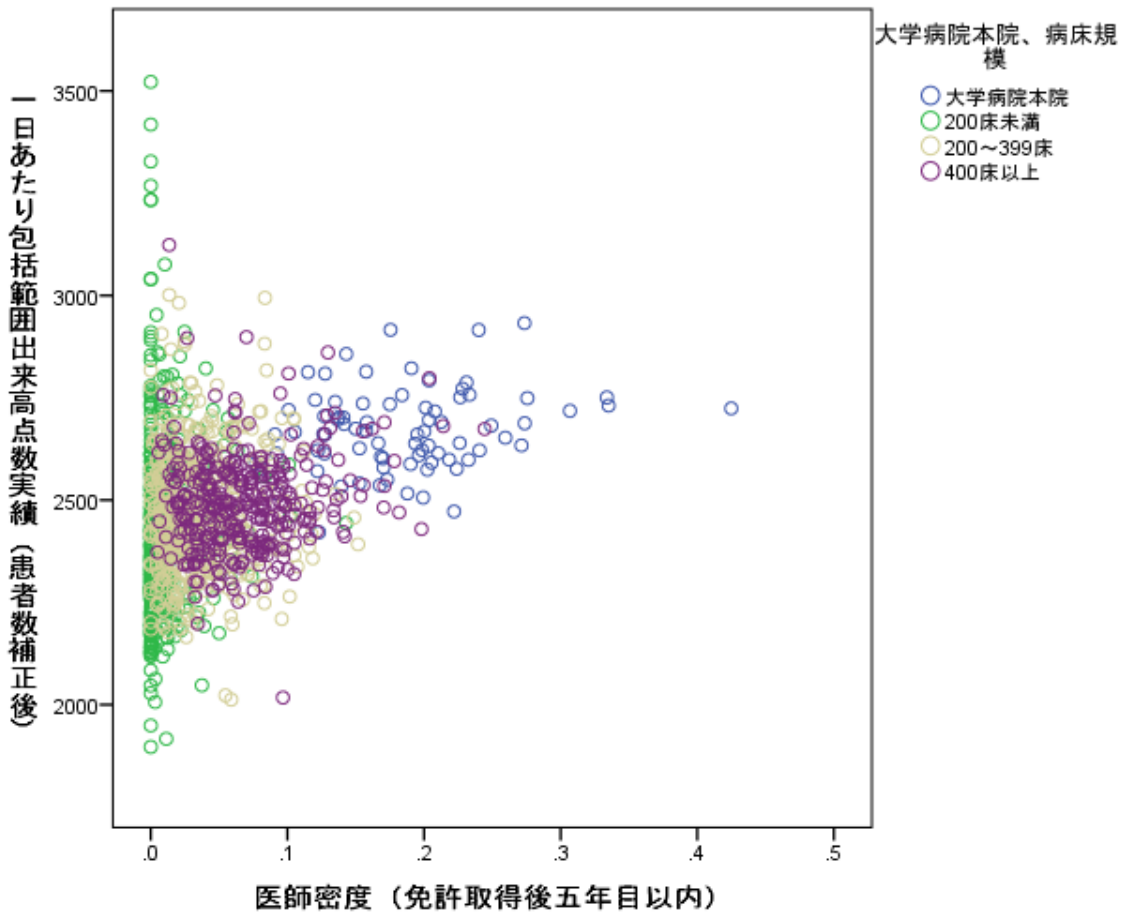
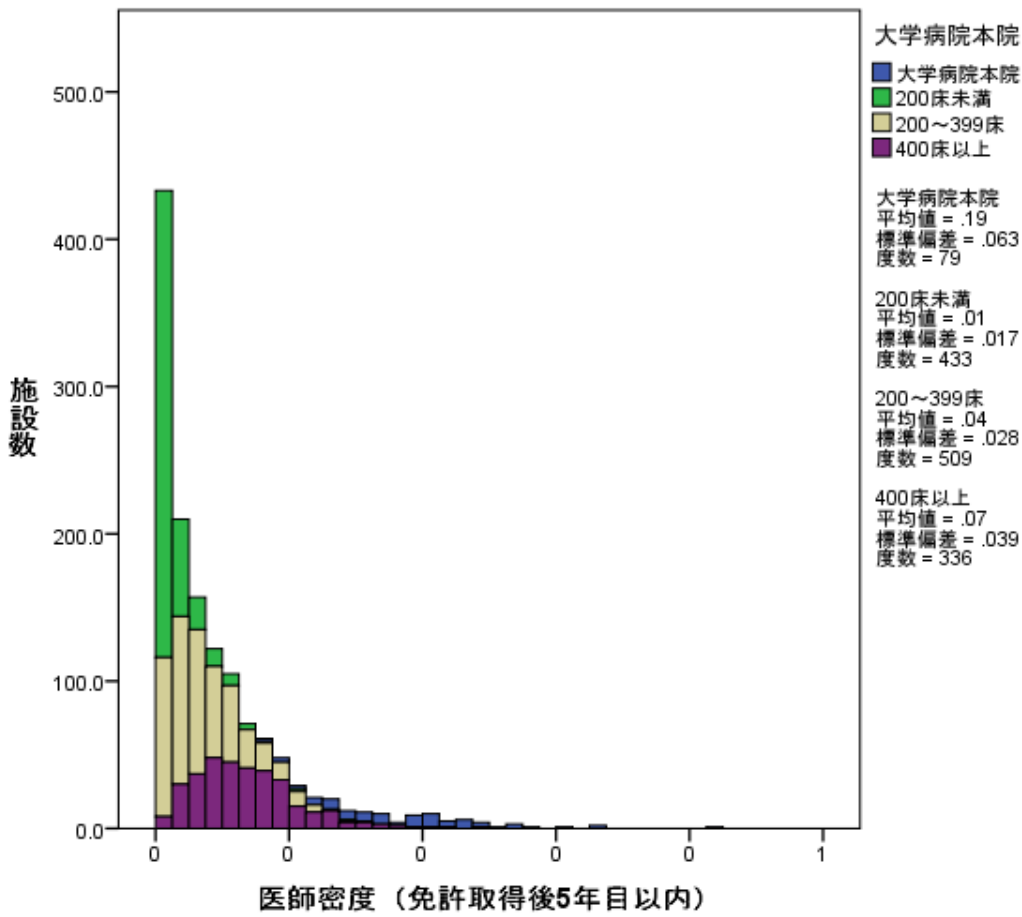
○「1日当たり包括範囲出来高平均点数（患者数補正後）」



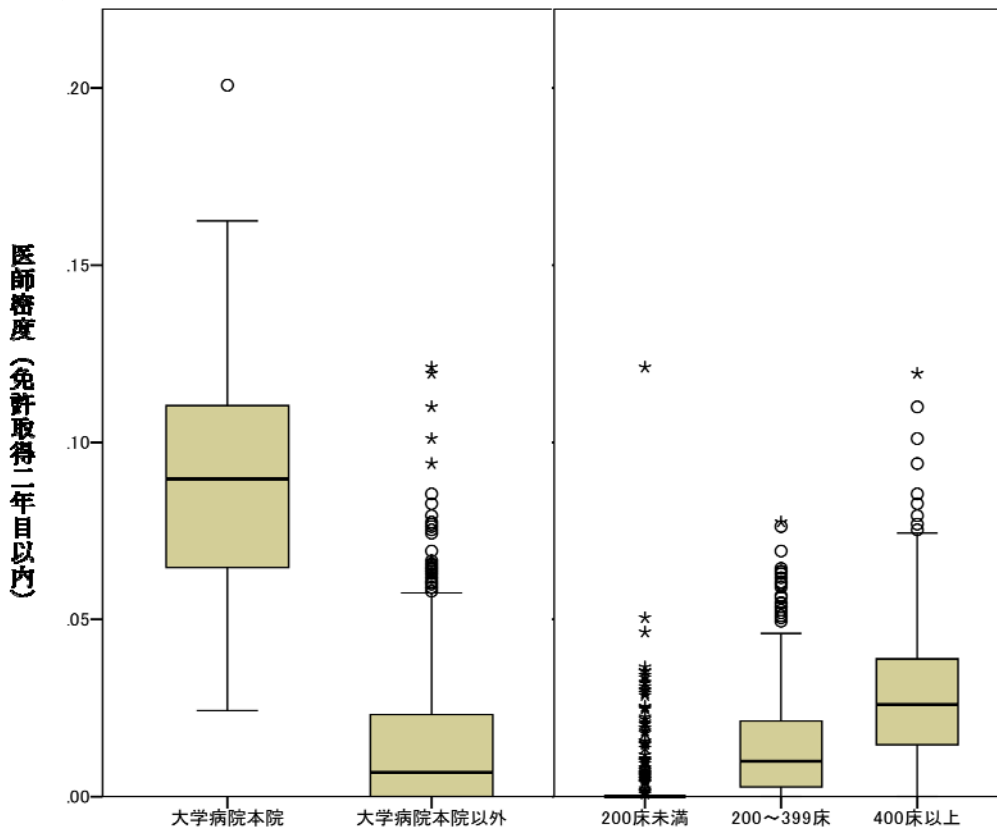
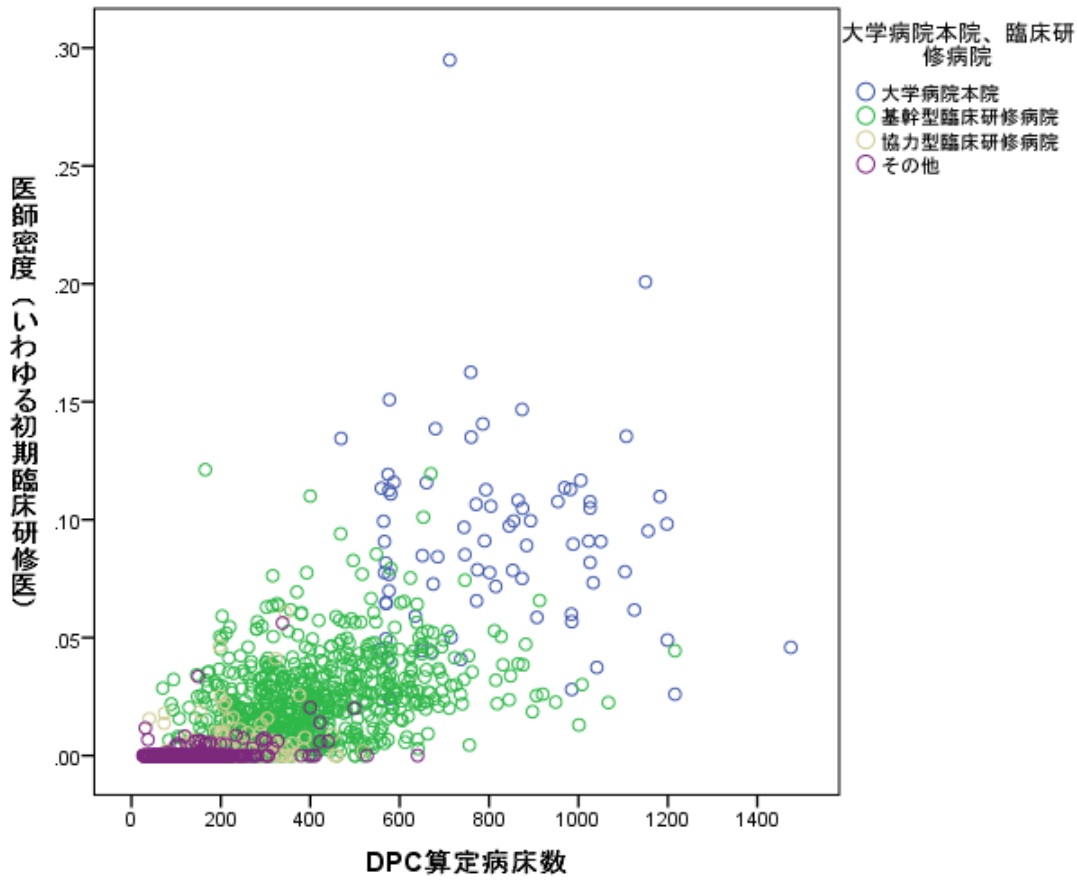


○「医師密度（免許取得後5年目以内）」

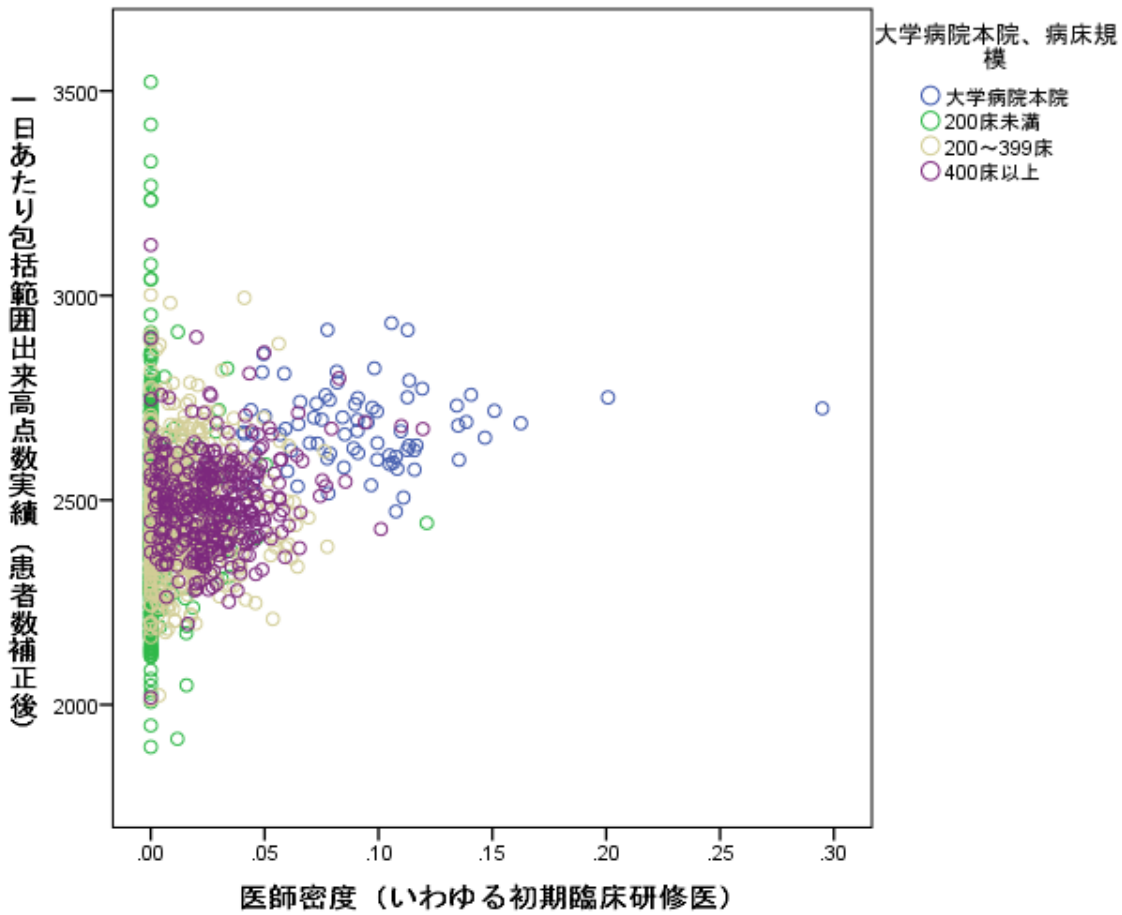
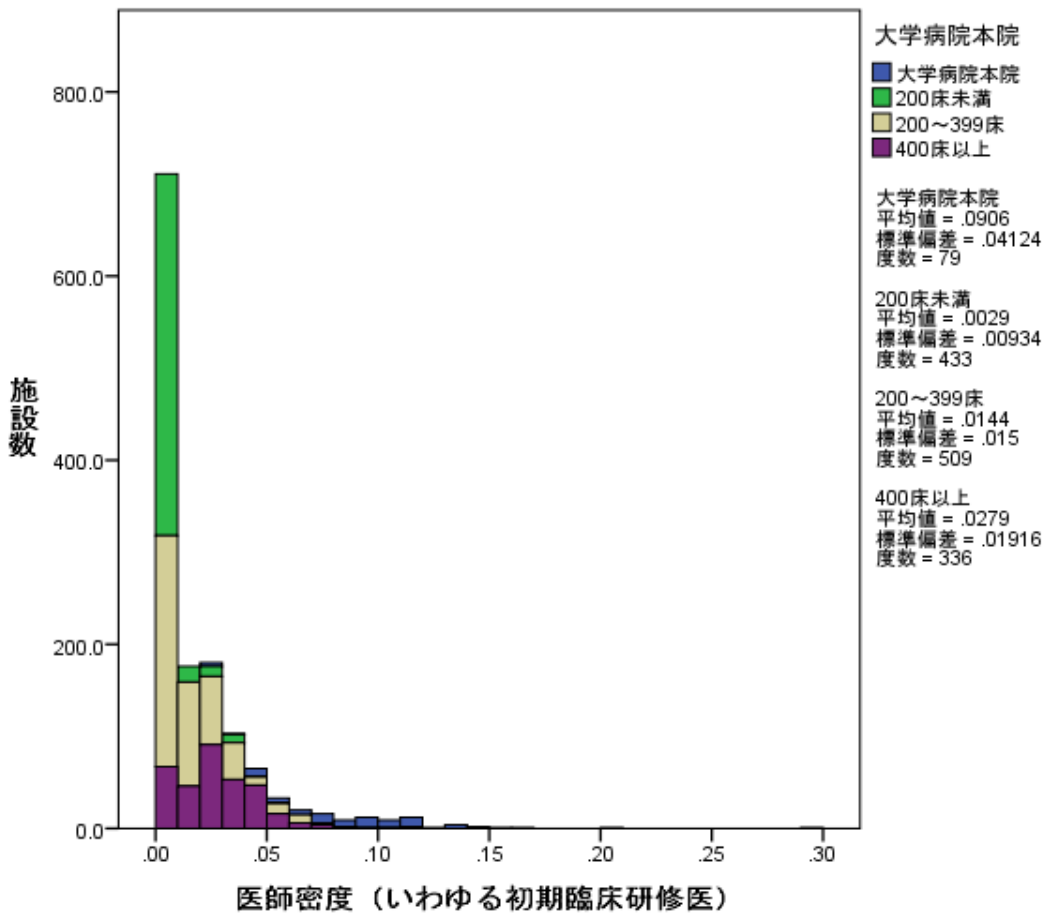




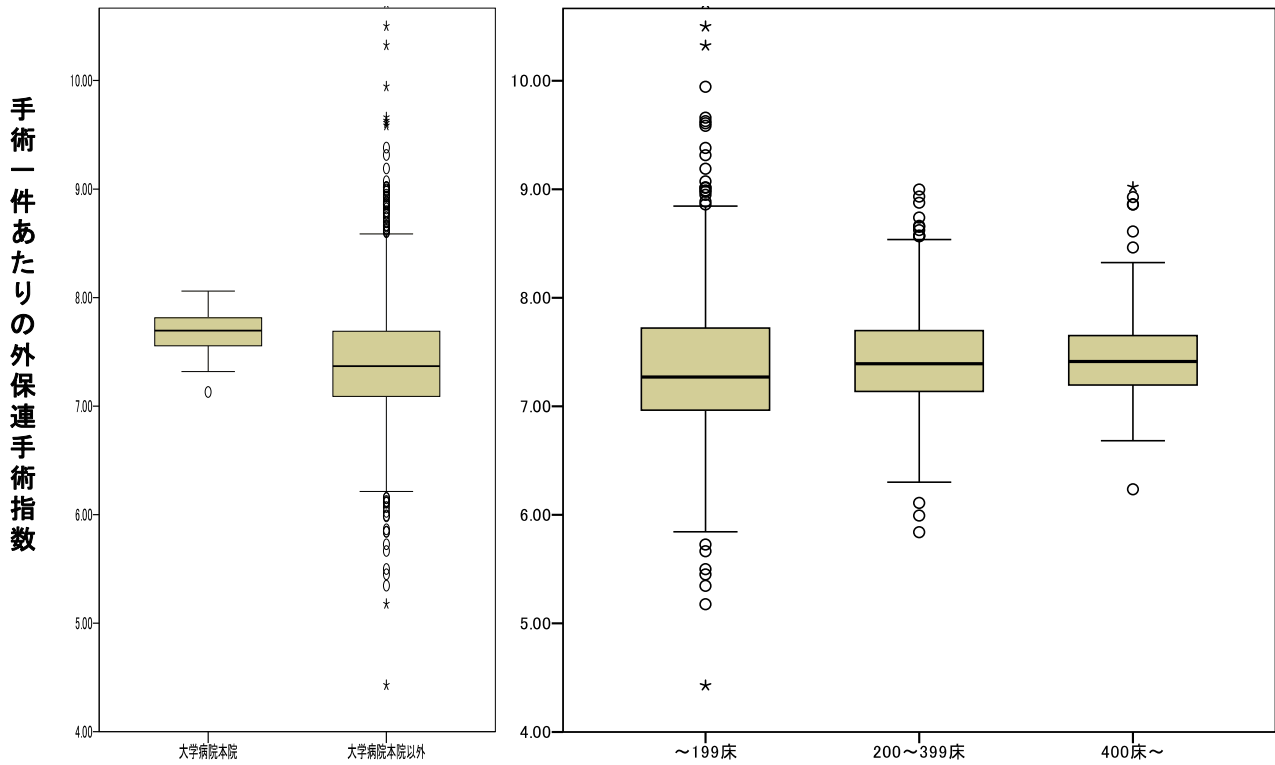
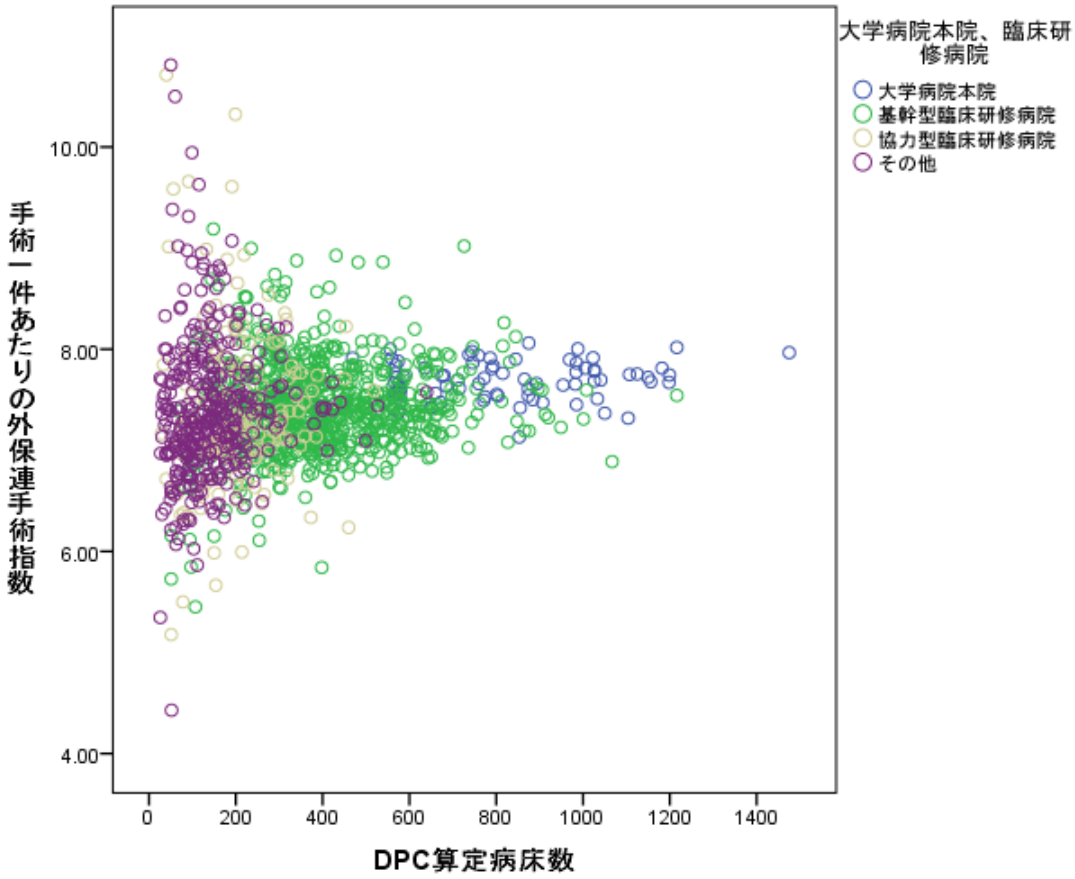
○「医師密度（免許取得後2年目以内）」

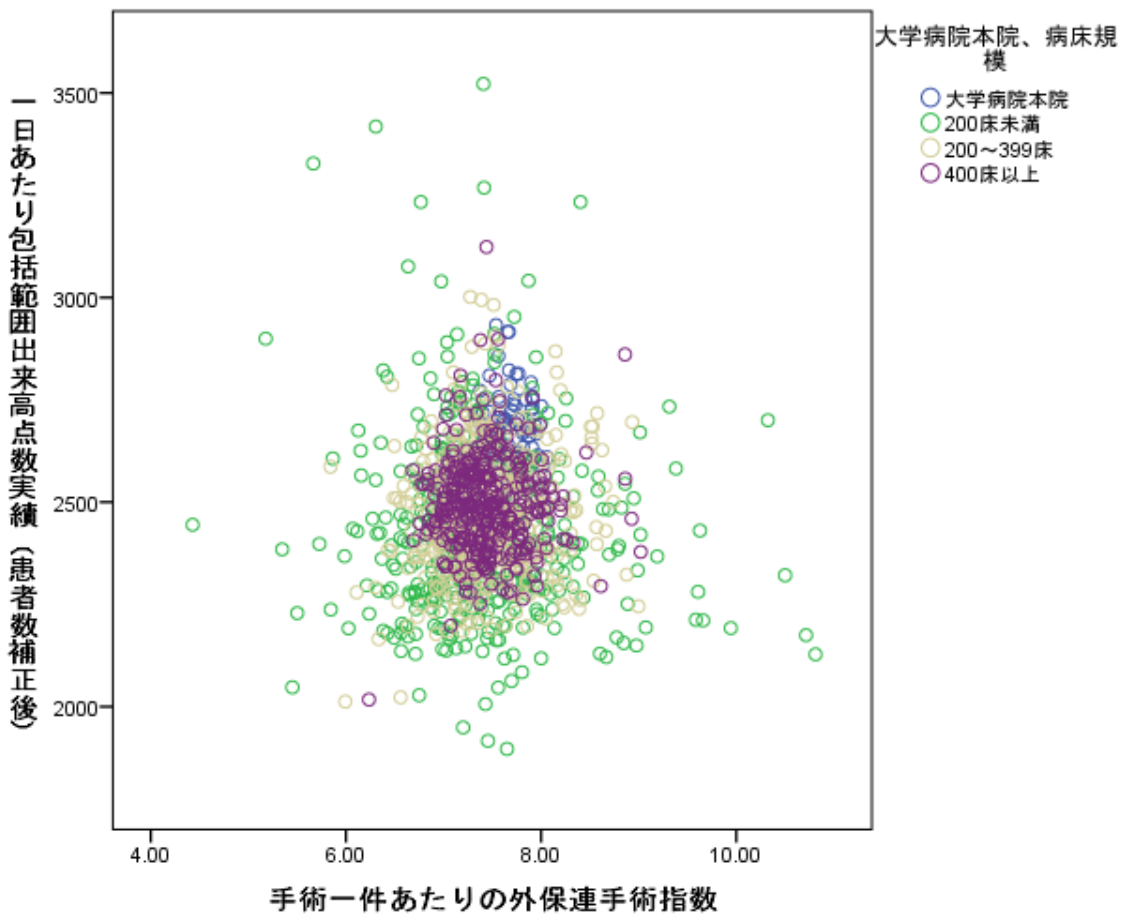
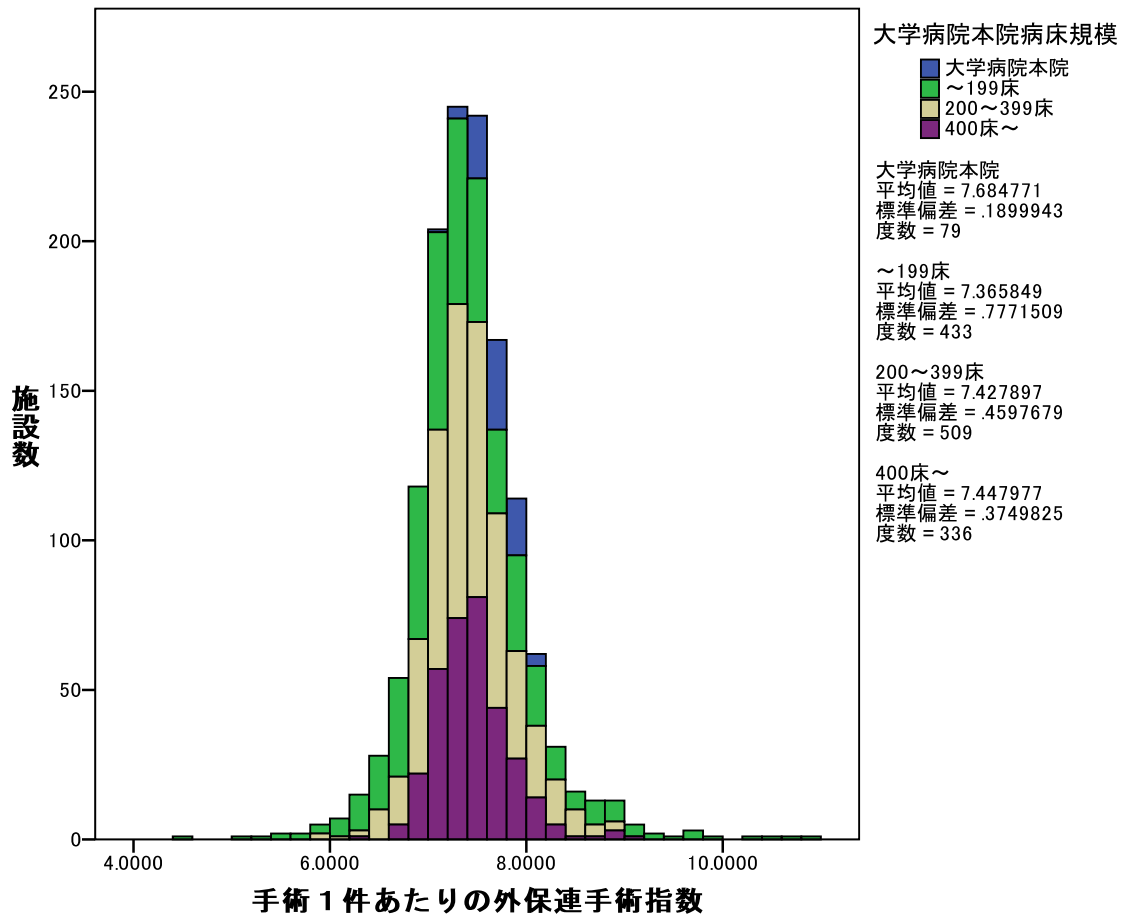


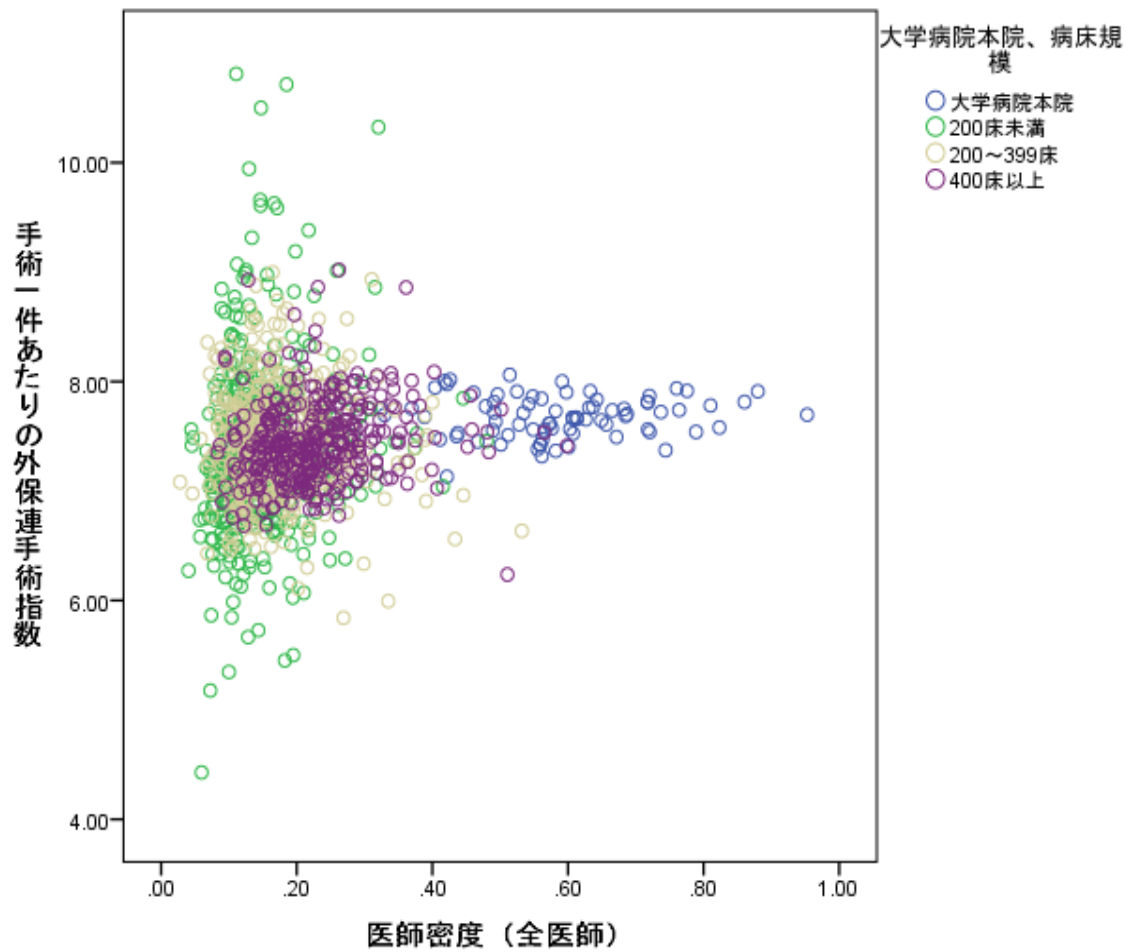




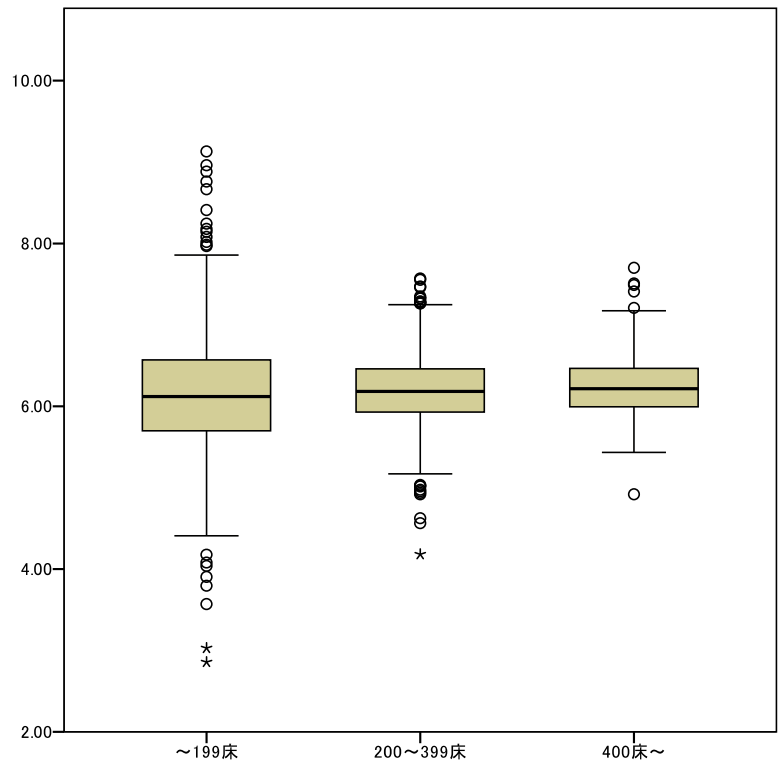
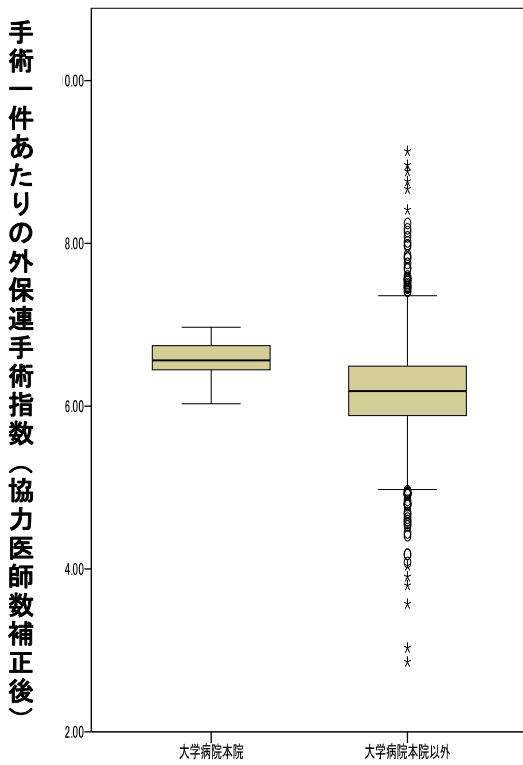
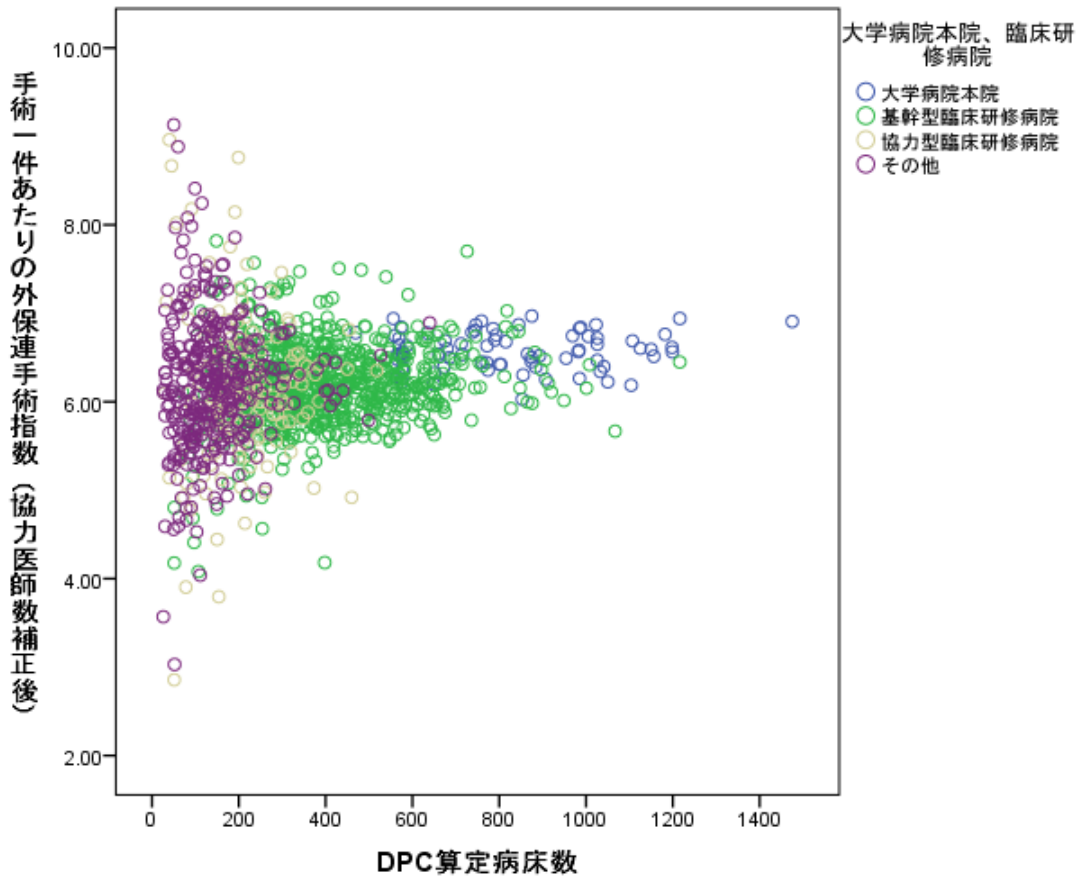
○「手術1件当たりの外保連手術指数」

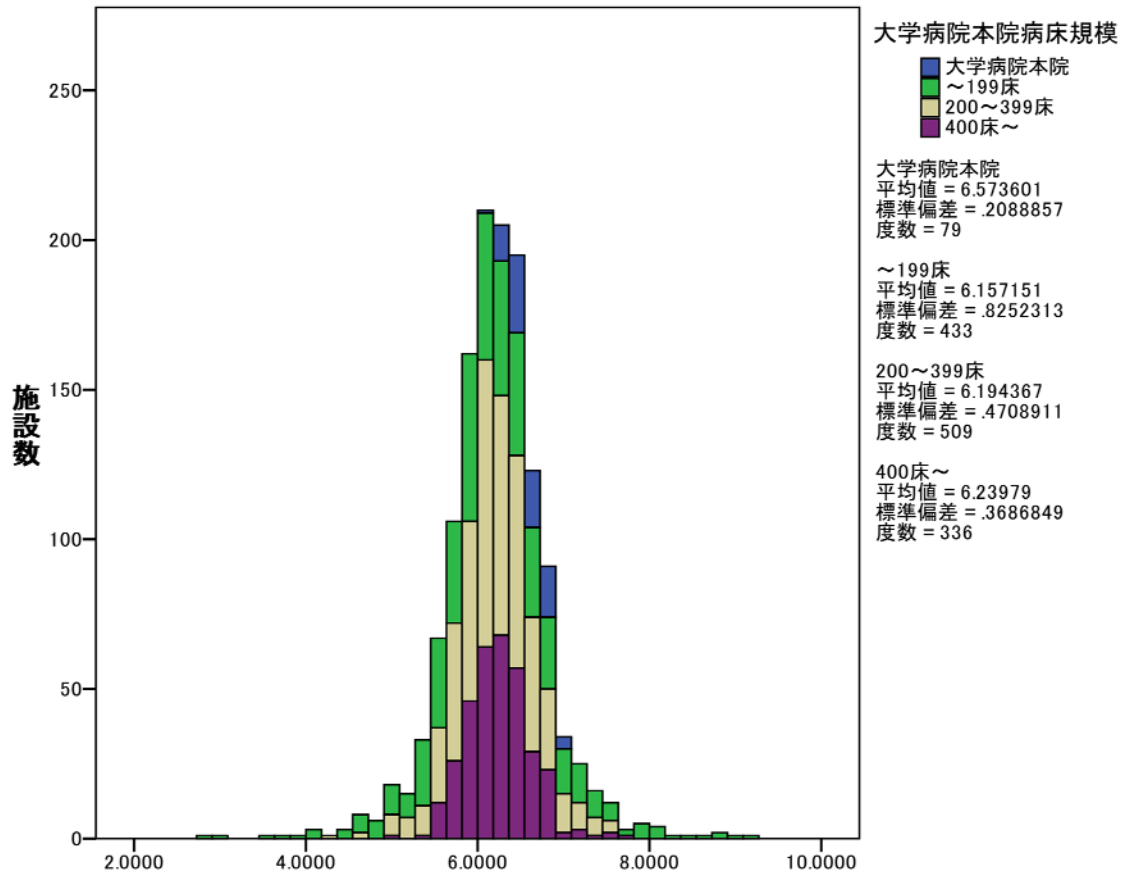




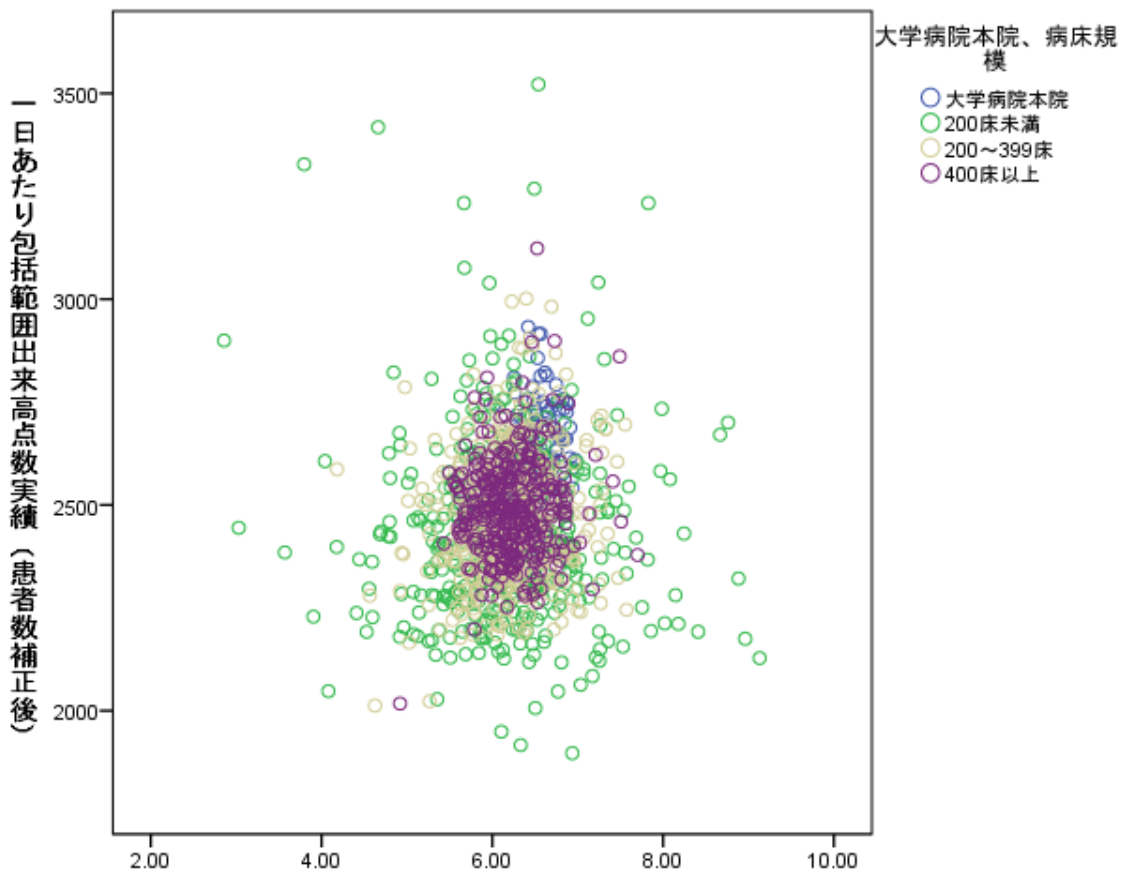


○「手術1件当たりの外保連手術指数（協力医師数補正後）」

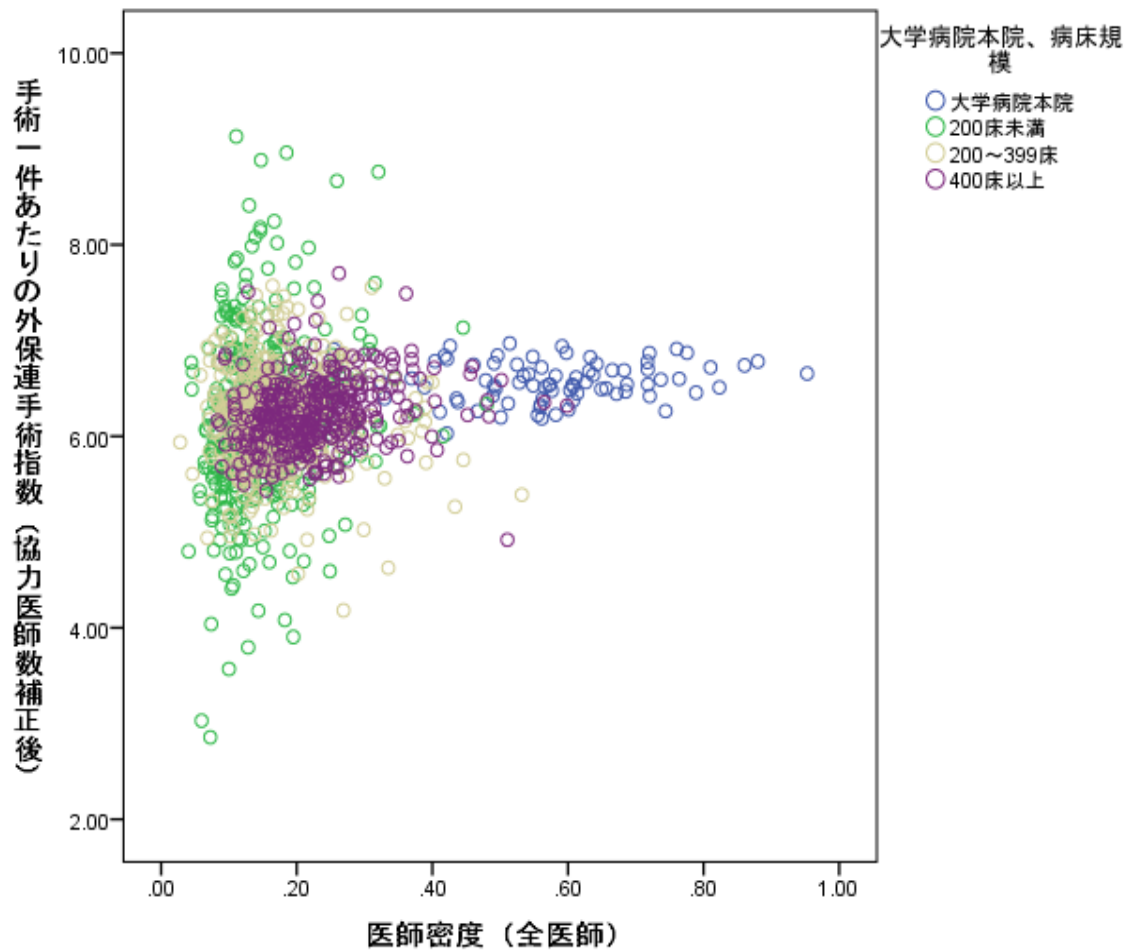




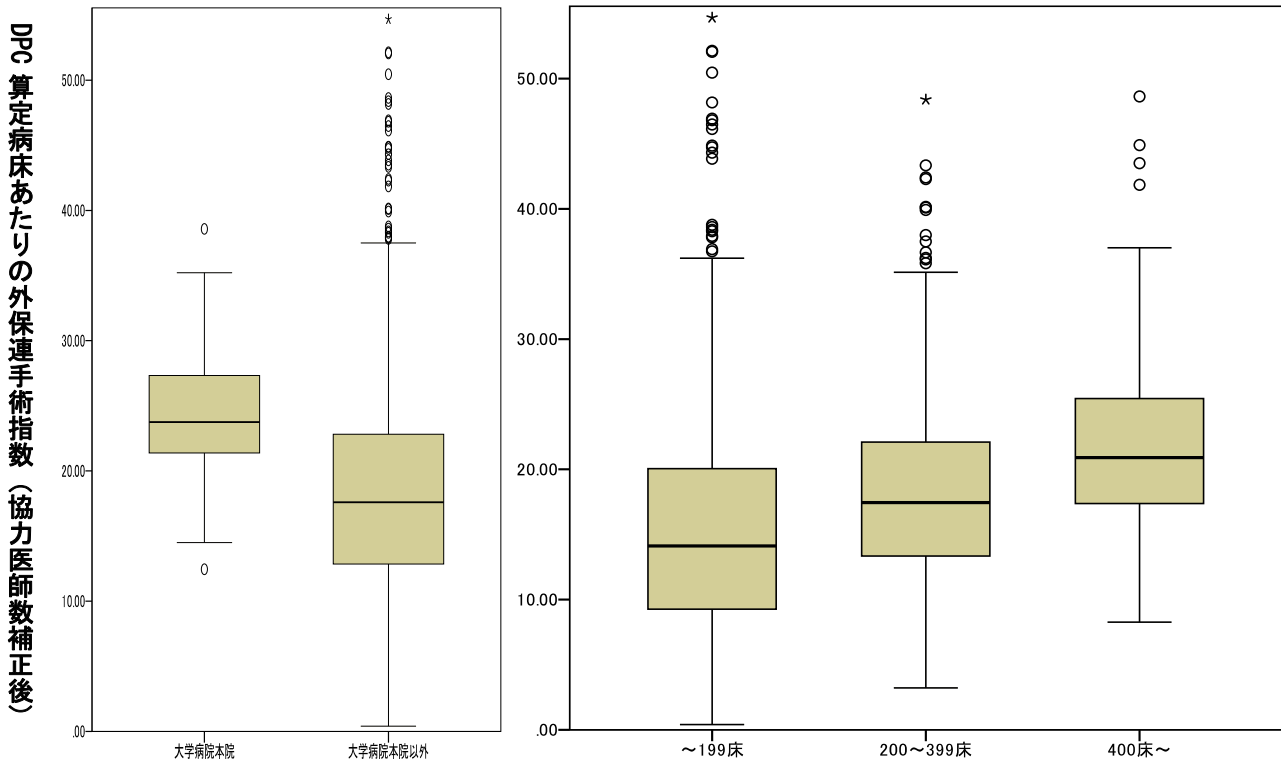
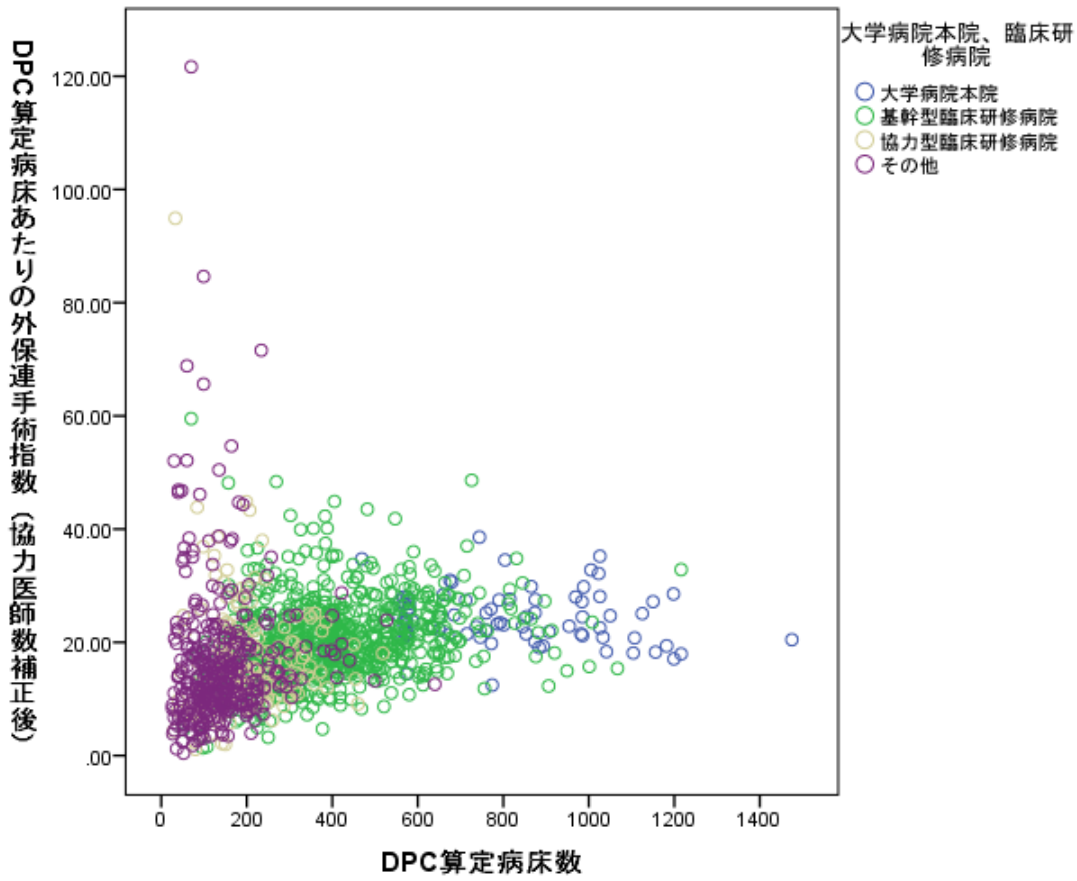
手術1件あたりの外保連手術指数(協力医師数補正後)



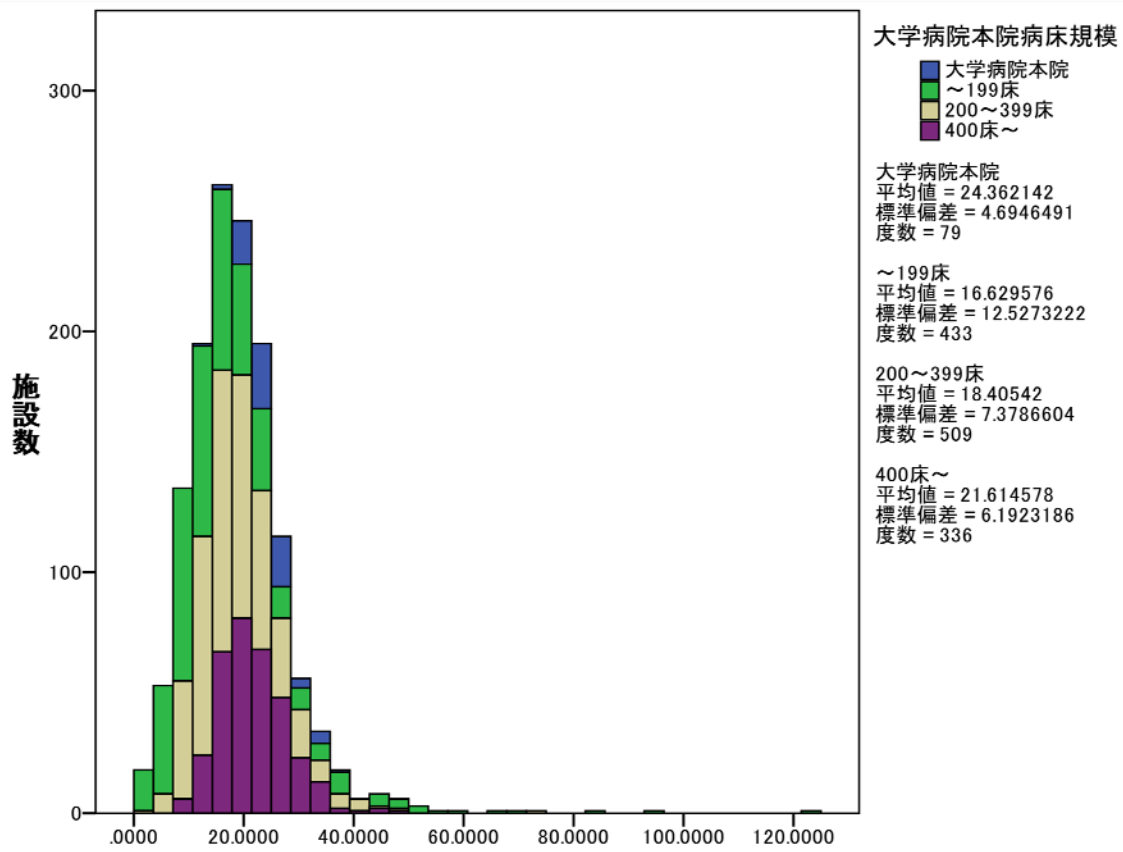
手術1件あたりの外保連手術指数(協力医師数補正後)



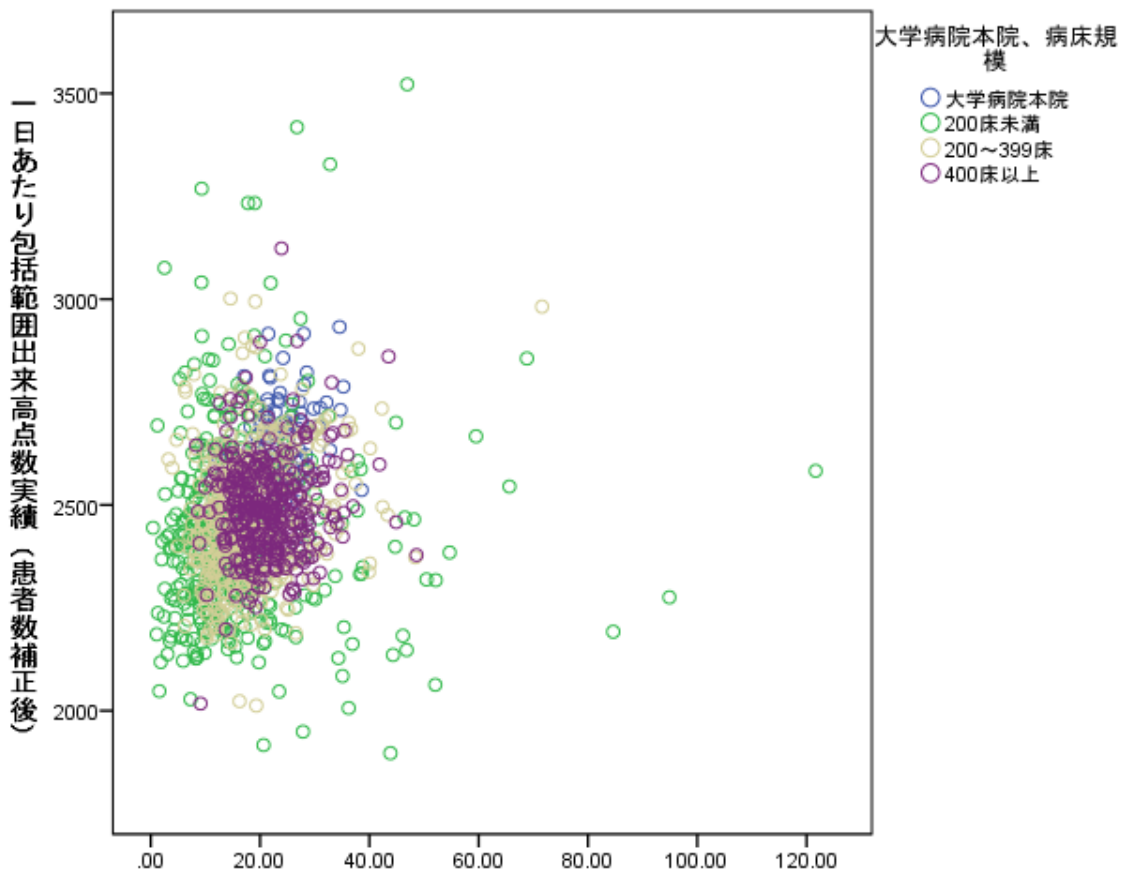
○「DPC 算定病床当たりの外保連手術指数（協力医師数補正後）」



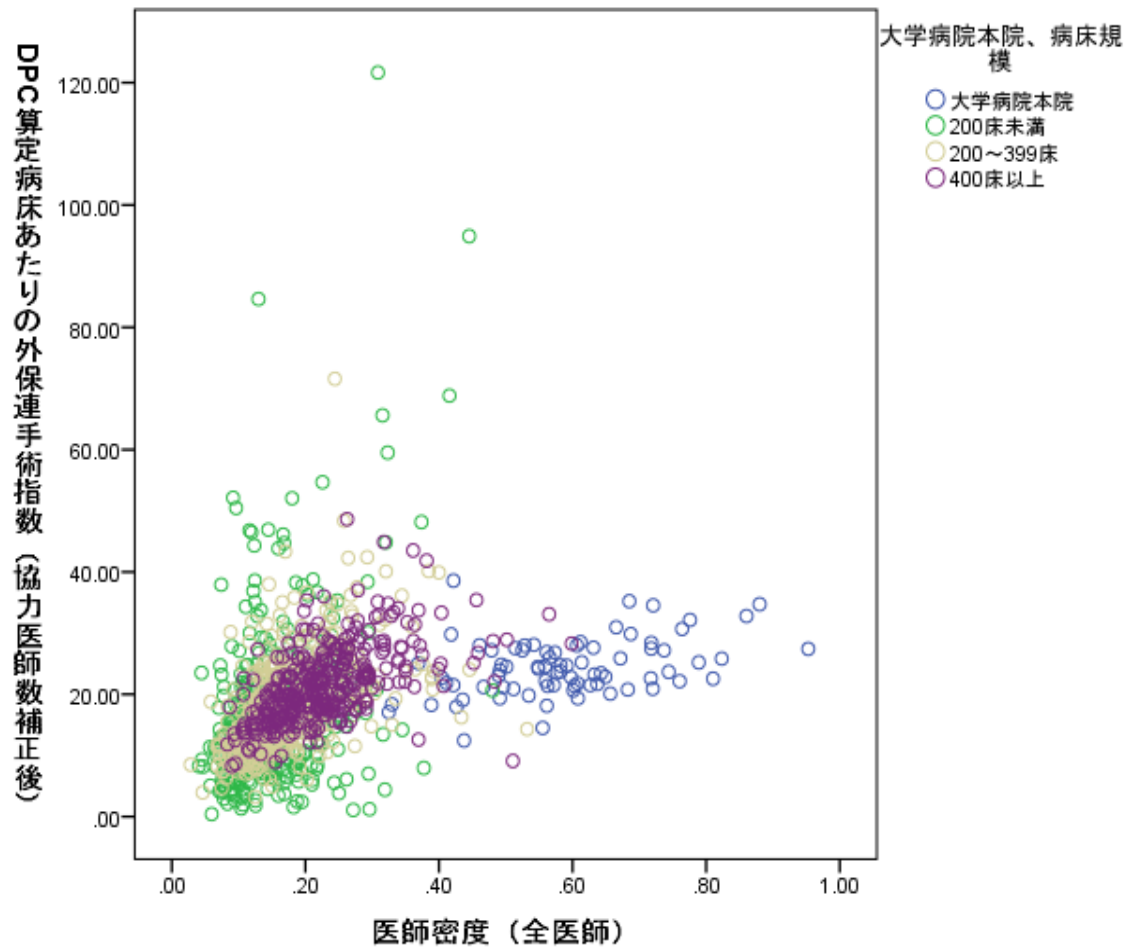




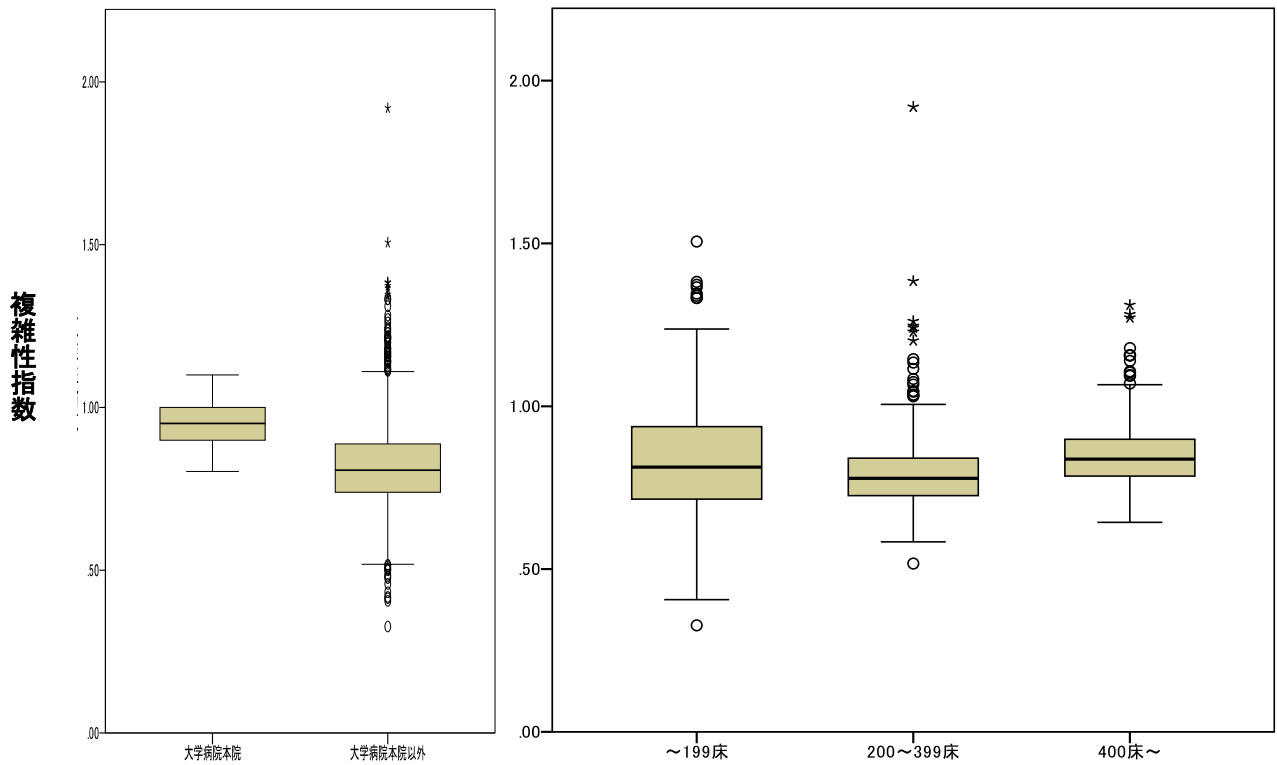
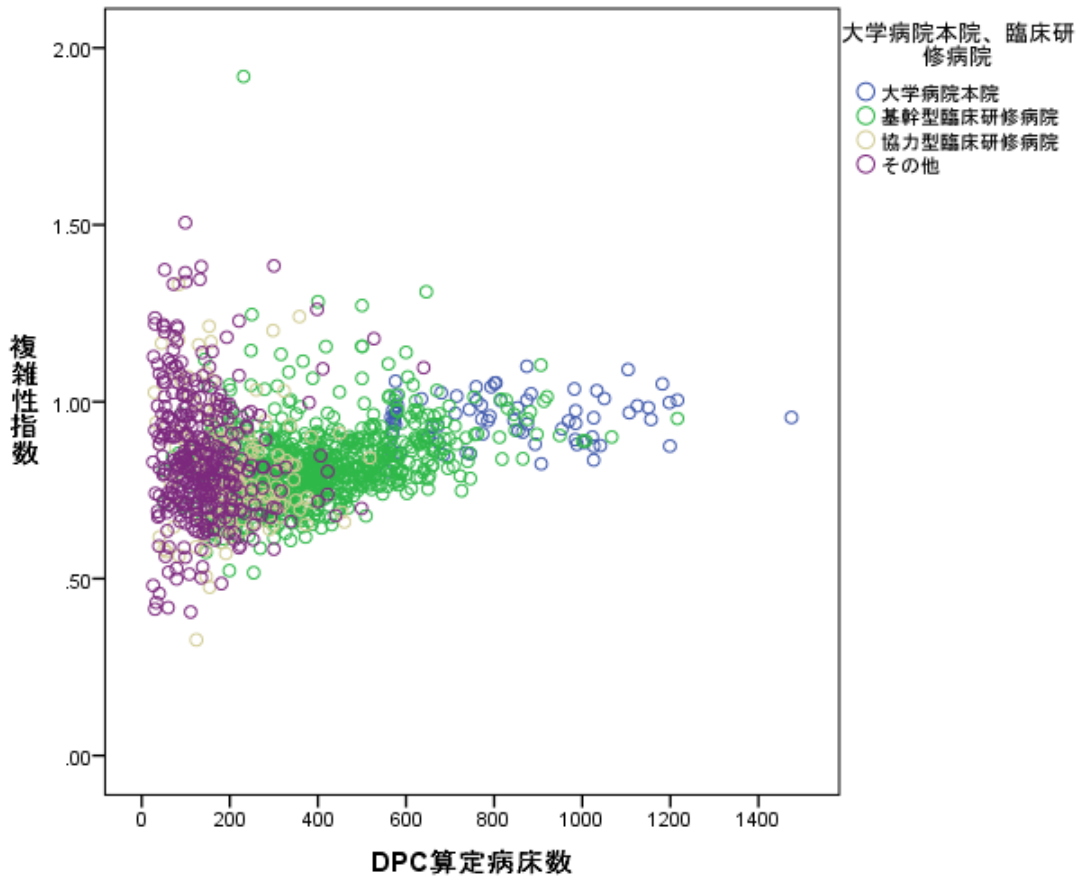
DPC算定病床あたりの外保連手術指数(協力医師数補正後)

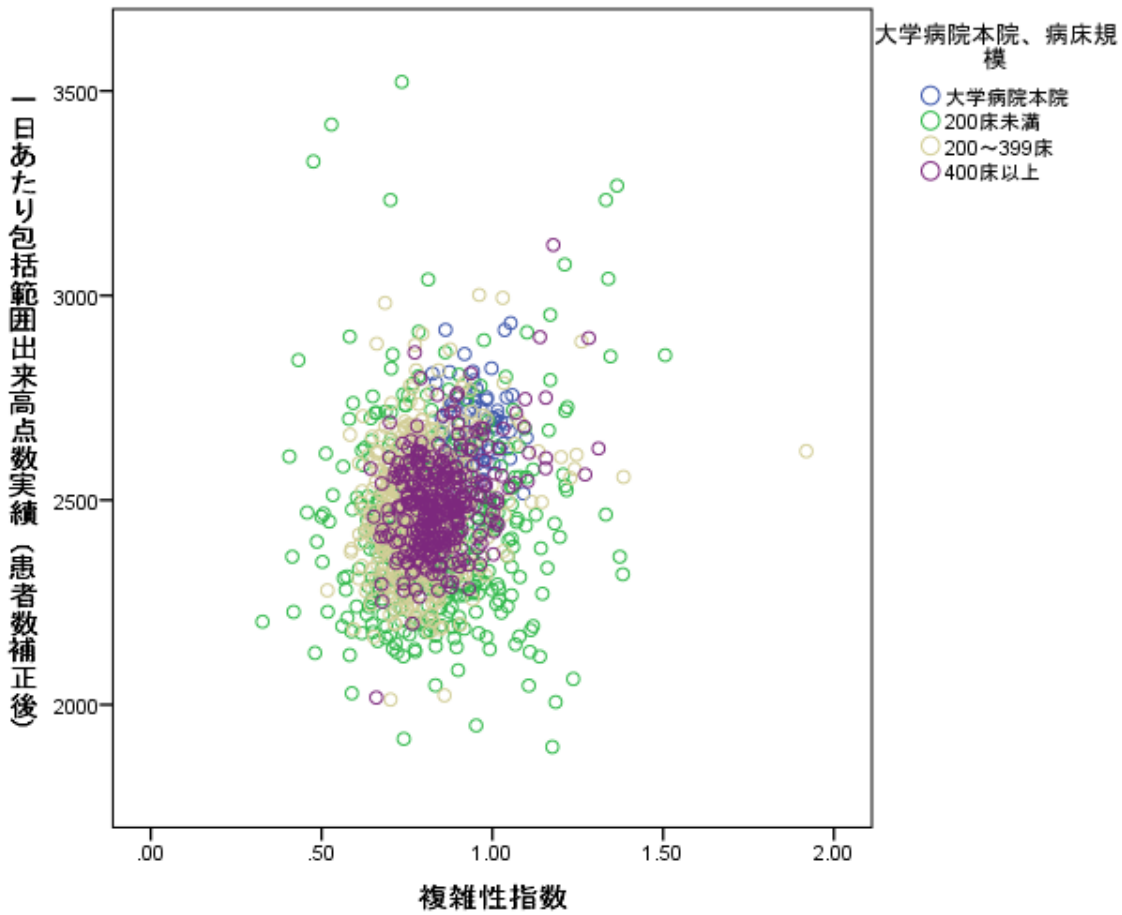
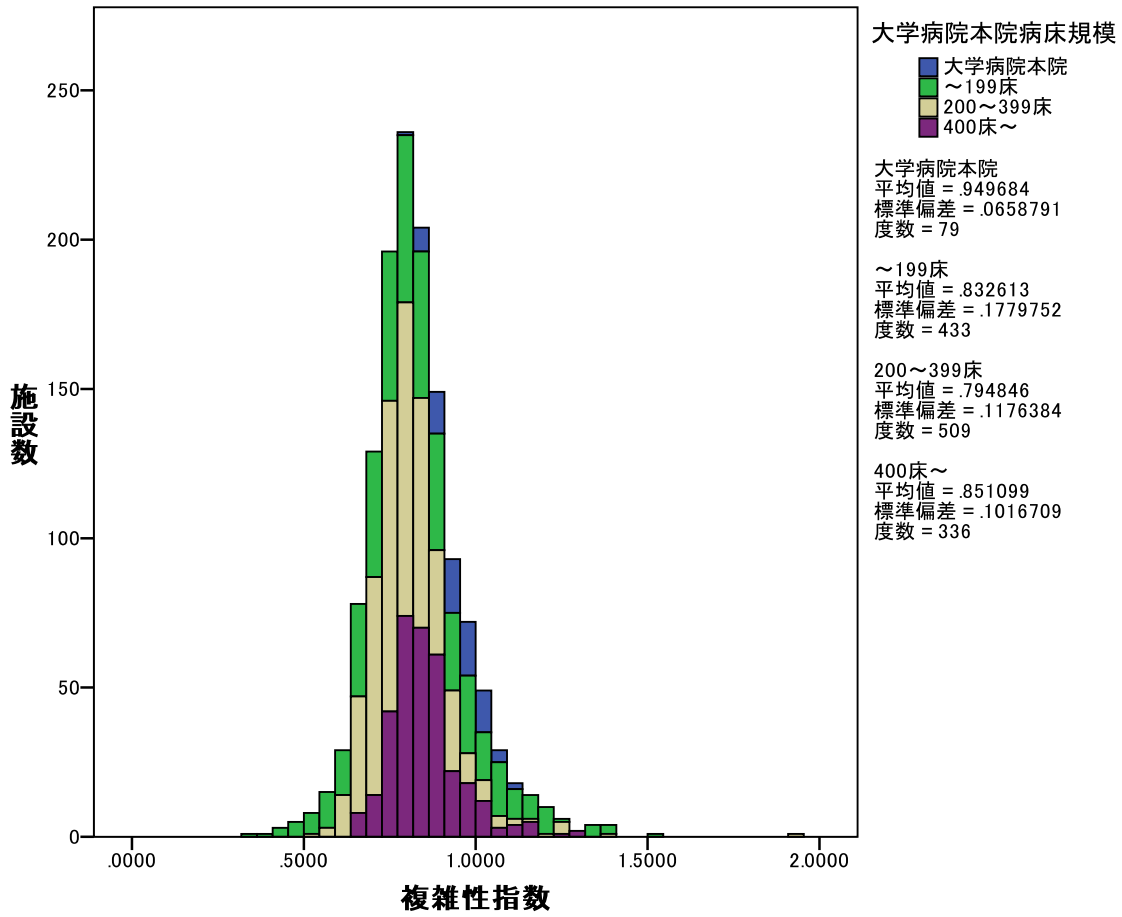


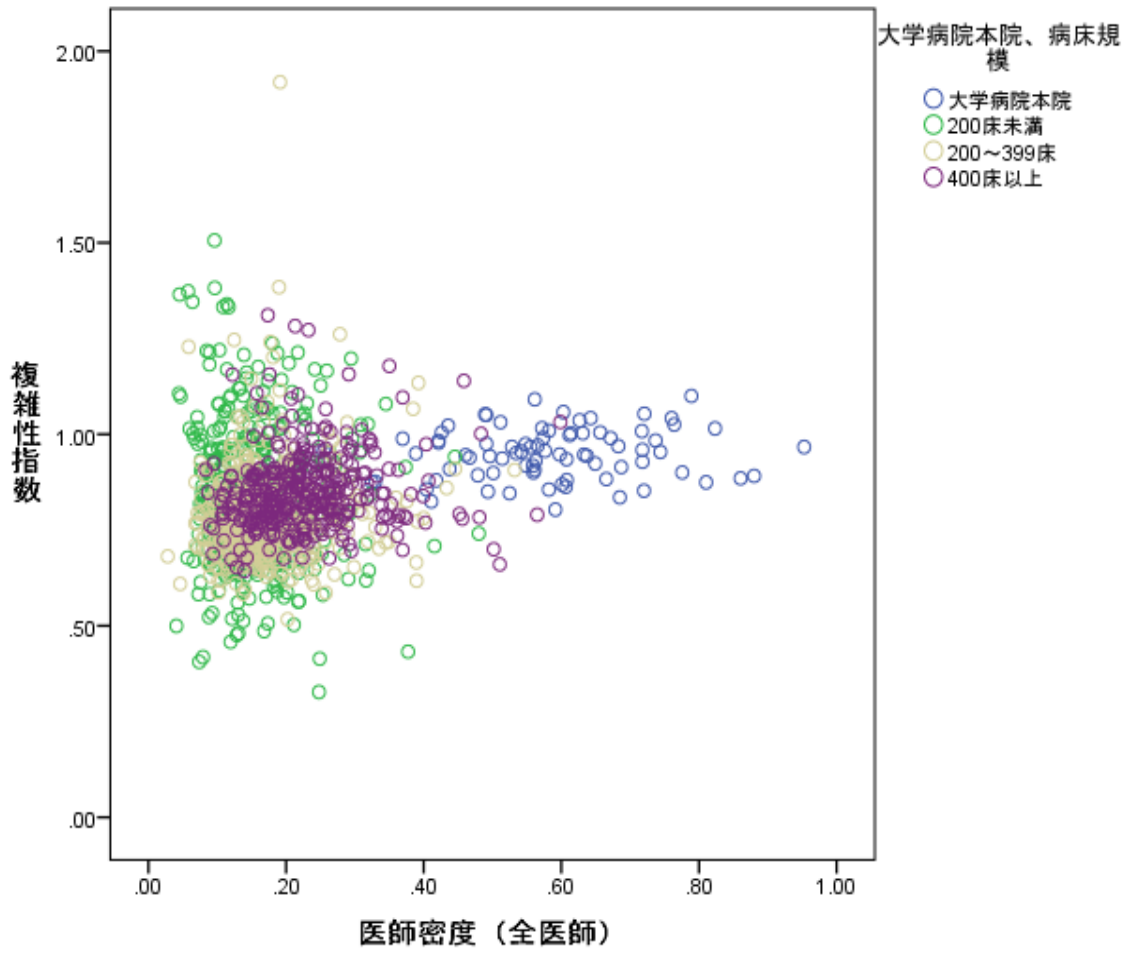
DPC算定病床あたりの外保連手術指数 (協力医師数補正後)



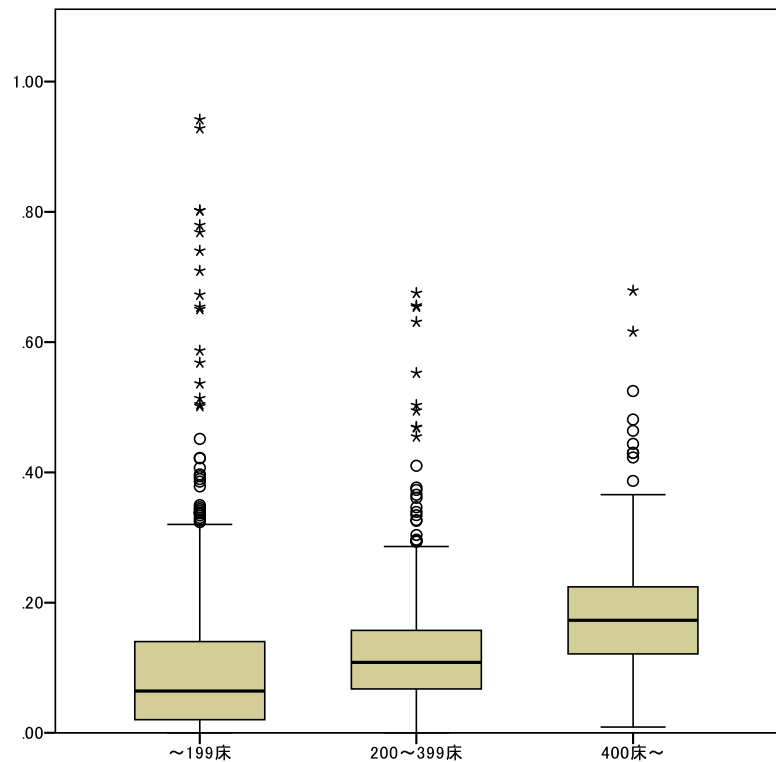
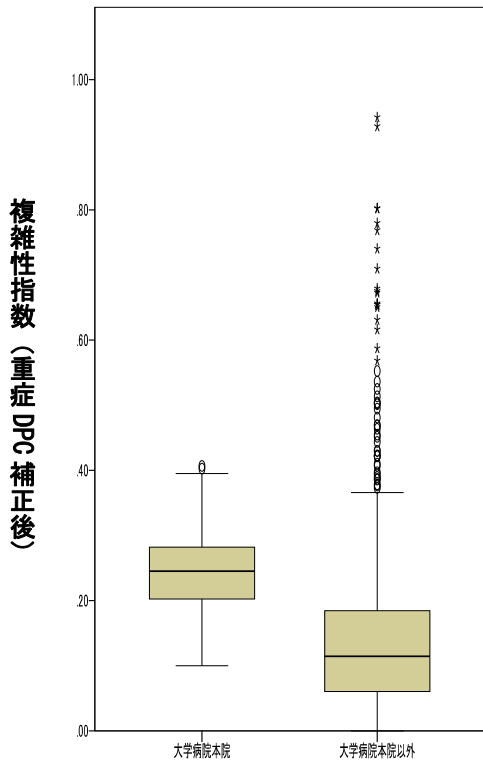
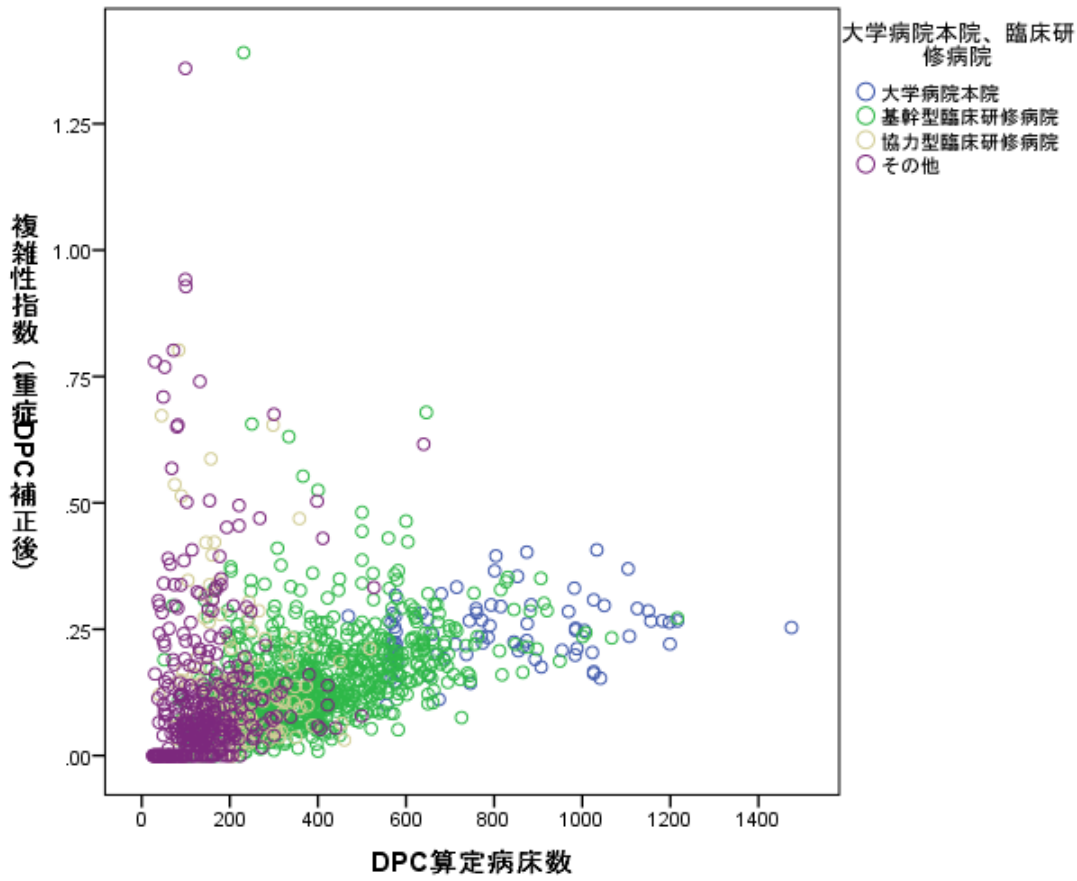
○ 複雑性指数

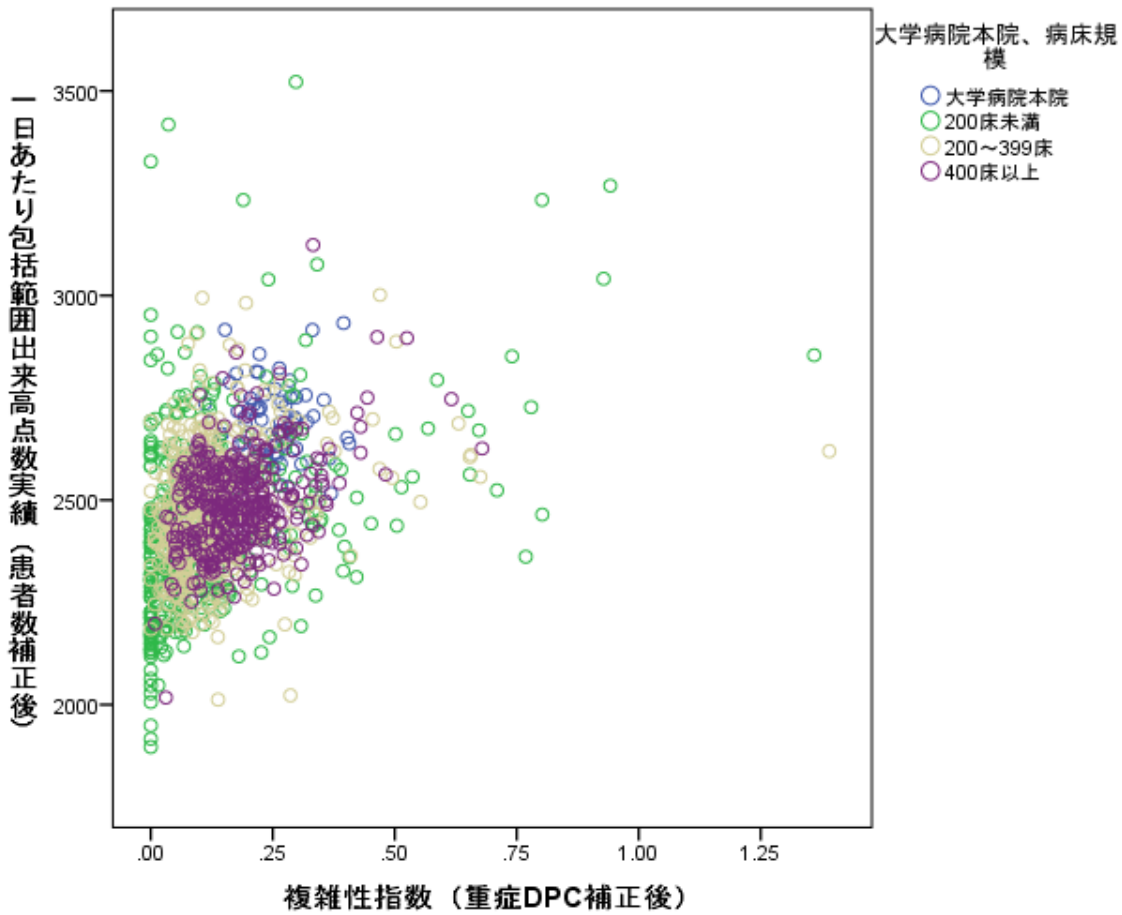
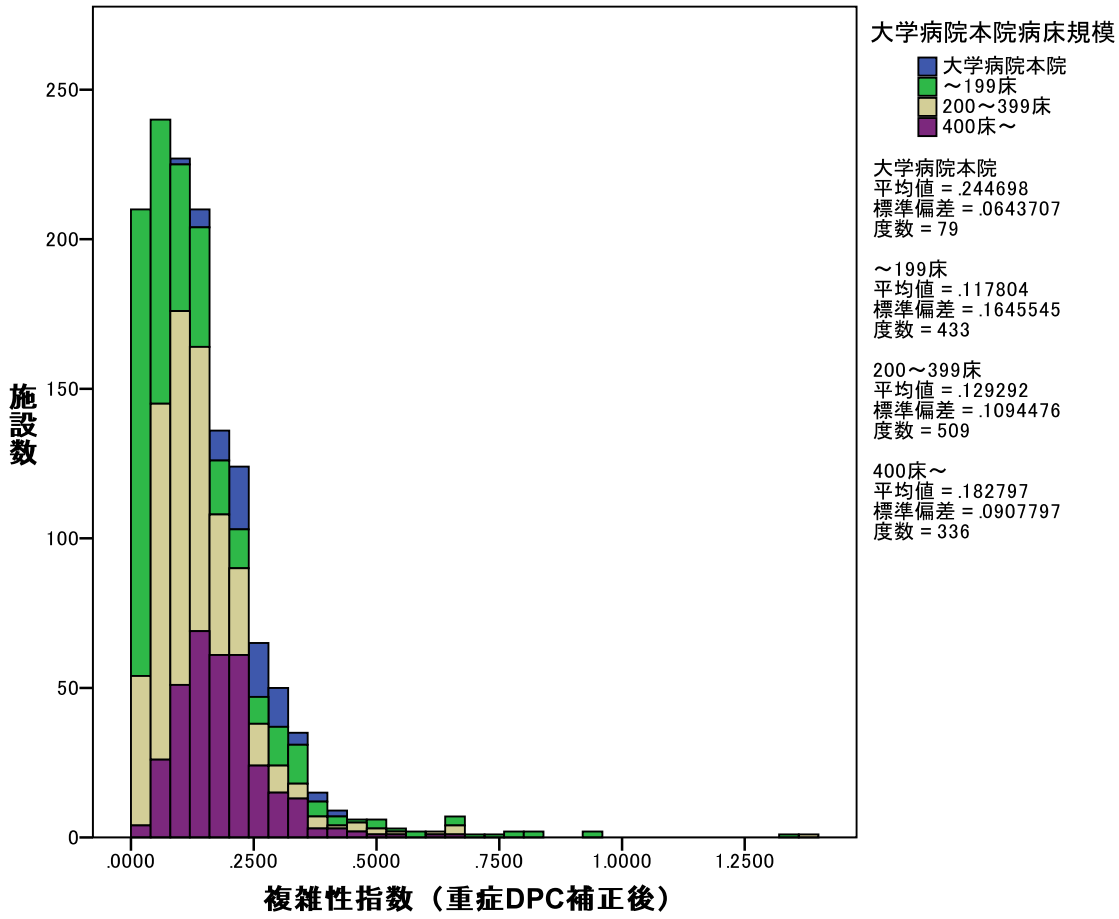


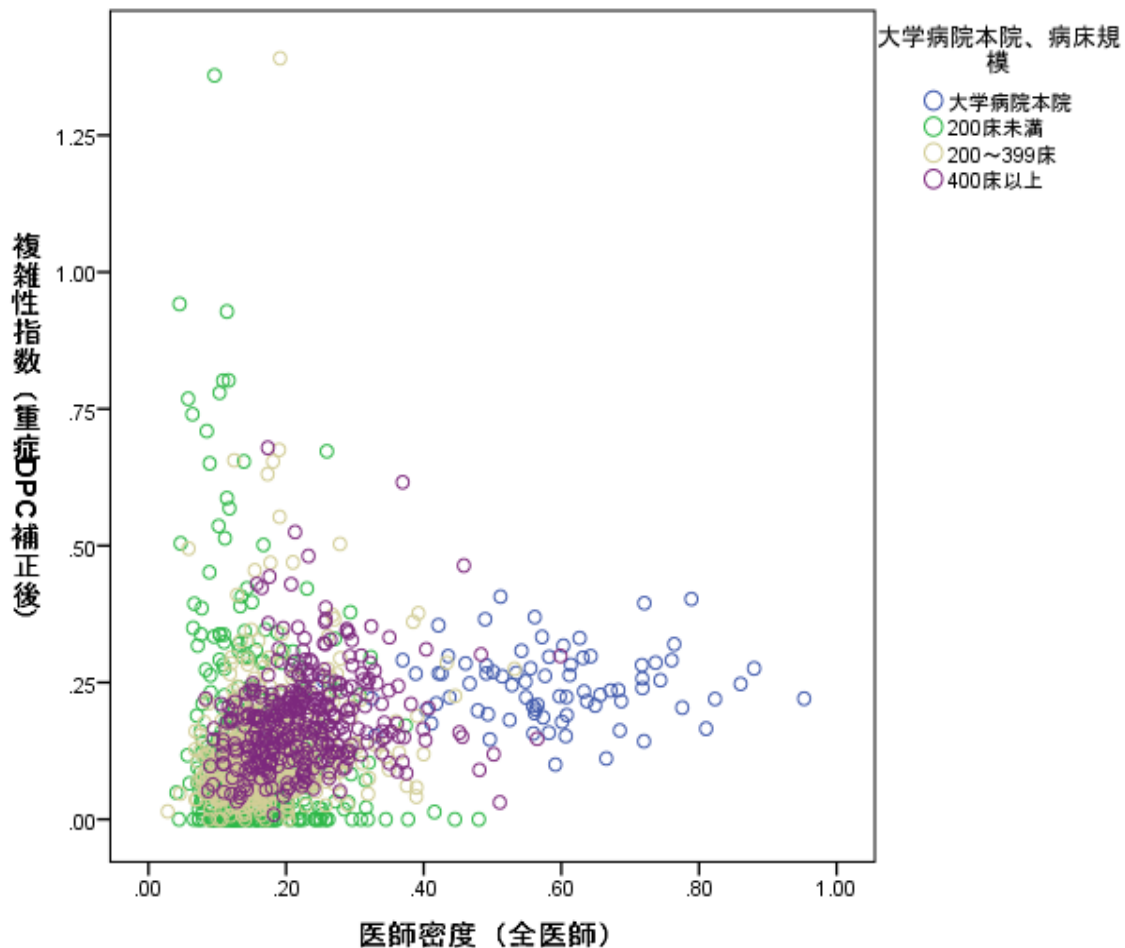




○ 複雑性指数（重症 DPC 補正後）







< 指標間の相関係数 (再掲) >

医師密度(全医師数)との相関係数	全施設	大学病院 本院を除く
< 高度な医療技術 >		
手術 1 件あたり外保連指数	0.138	0.088
手術 1 件あたり外保連指数(協力医師数補正後)	0.184	0.113
DPC 算定病床あたり外保連指数	0.377	0.466
DPC 算定病床あたり外保連指数(協力医師数補正後)	0.389	0.459
< 重症者診療機能 >		
複雑性指数	0.201	0.06
複雑性指数(重症 DPC 補正後)	0.213	0.115

	全施設	大学病院 本院を除く
医師密度間の相関係数		
2 年目以下 × 5 年目以下	0.945	0.911
2 年目以下 × 全医師	0.829	0.669
5 年目以下 × 全医師	0.885	0.775